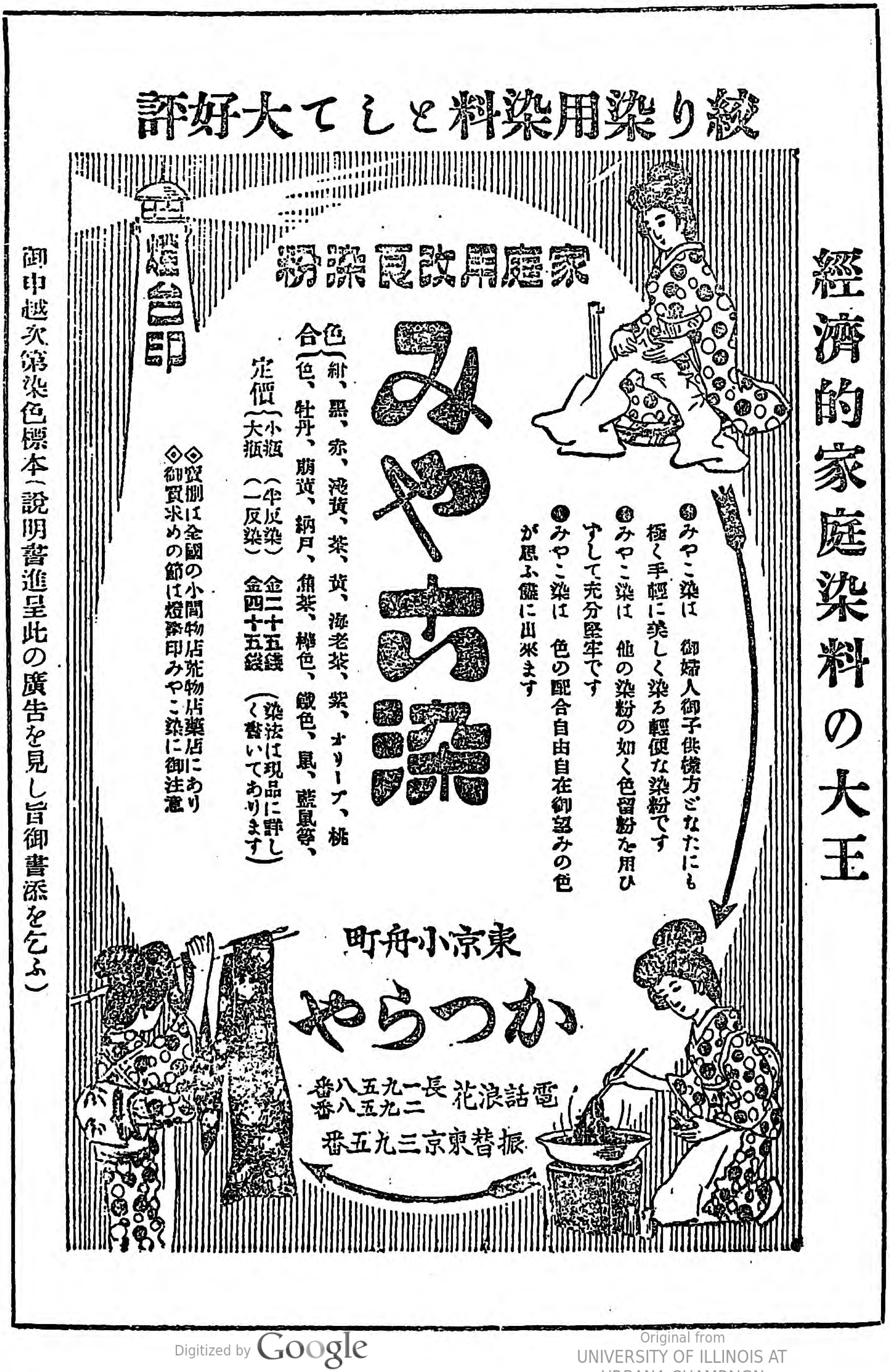
處女の友

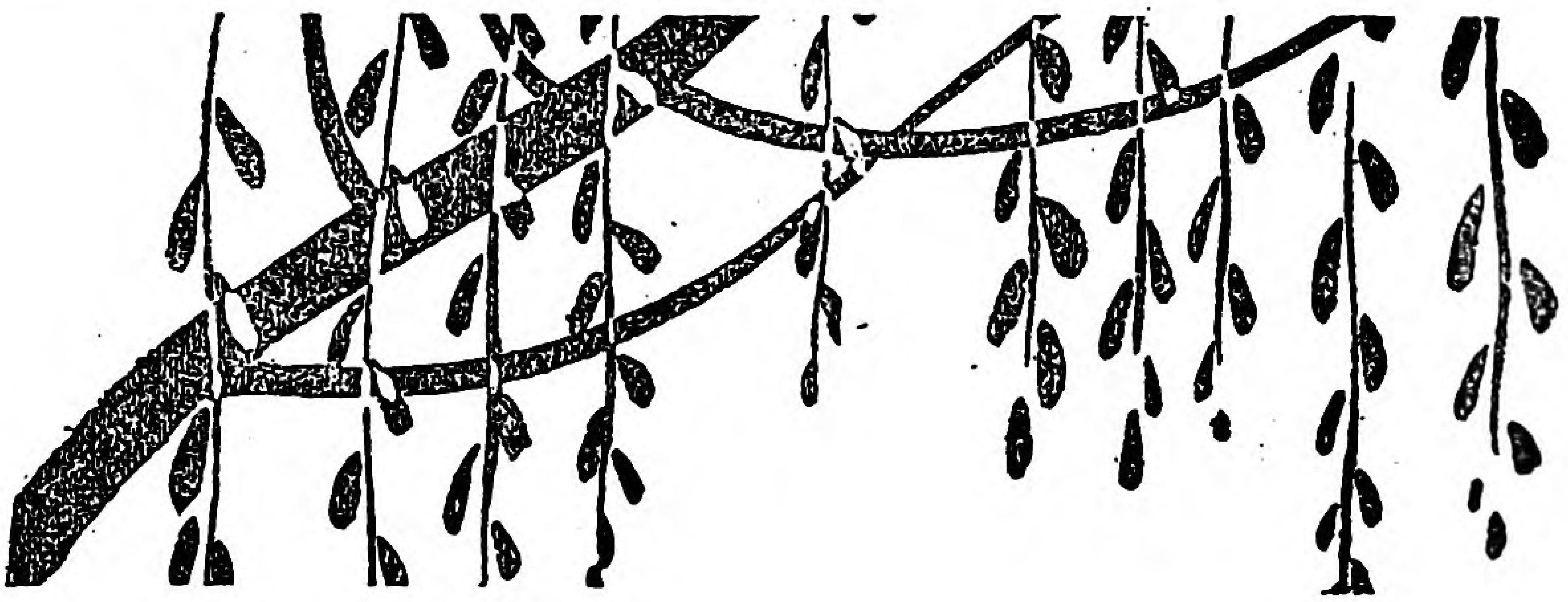
七月

3巻7号

第三巻　處女會中央部發行　第七號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN


絞り染用染料として大好評
經濟的家庭染料の大王
家庭用改良染粉
燈台印
みやこ染
色合(紺、黒、赤、淺黄、茶、黄、海老茶、紫、オリーブ、桃色、牡丹、萌黄、納戸、焦茶、樺色、鐵色、鼠、藍鼠等、)
定價(小瓶(半反染)金二十五錢
大瓶(一反染)金四十五錢)(染法は現品に詳しく書いてあります)
◎みやこ染は 御婦人御子供様方どなたにも極く手輕に美しく染る輕便な染粉です
◎みやこ染は 他の染粉の如く色留粉を用ひずして充分堅牢です
◎みやこ染は 色の配合自由自在御望みの色が思ふ儘に出來ます
◎賣捌は全國の小間物店荒物店藥店にあり
◎御買求めの節は燈臺印みやこ染に御注意
東京小舟町
かつらや
電話浪花 長一九五八番 二九五八番
振替東京三九五番
御申越次第染色標本(説明書進呈此の廣告を見し旨御書添を乞ふ)



夏を娯しく

涼しく暮らすには

是非お顔のお化粧に

日ヤケを防ぎ—理想的隠化粧のできる

高貴芳香入
夏の化粧料

ホーカー液

夏は貴婦人紳士方

の化粧家にホーカー液がないと恥だと申される程盛んに愛用されます、是非一度御使用の上御試験を願上げます

定價		
大瓶一圓十五錢	中瓶五十八錢	小瓶二十八錢

送料内地六錢

東京神田和泉橋
ホーカー化粧品本舖
堀越嘉太郎商店
電話神田一三、一四、一五
振替東京一五六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女の友 七月號目次

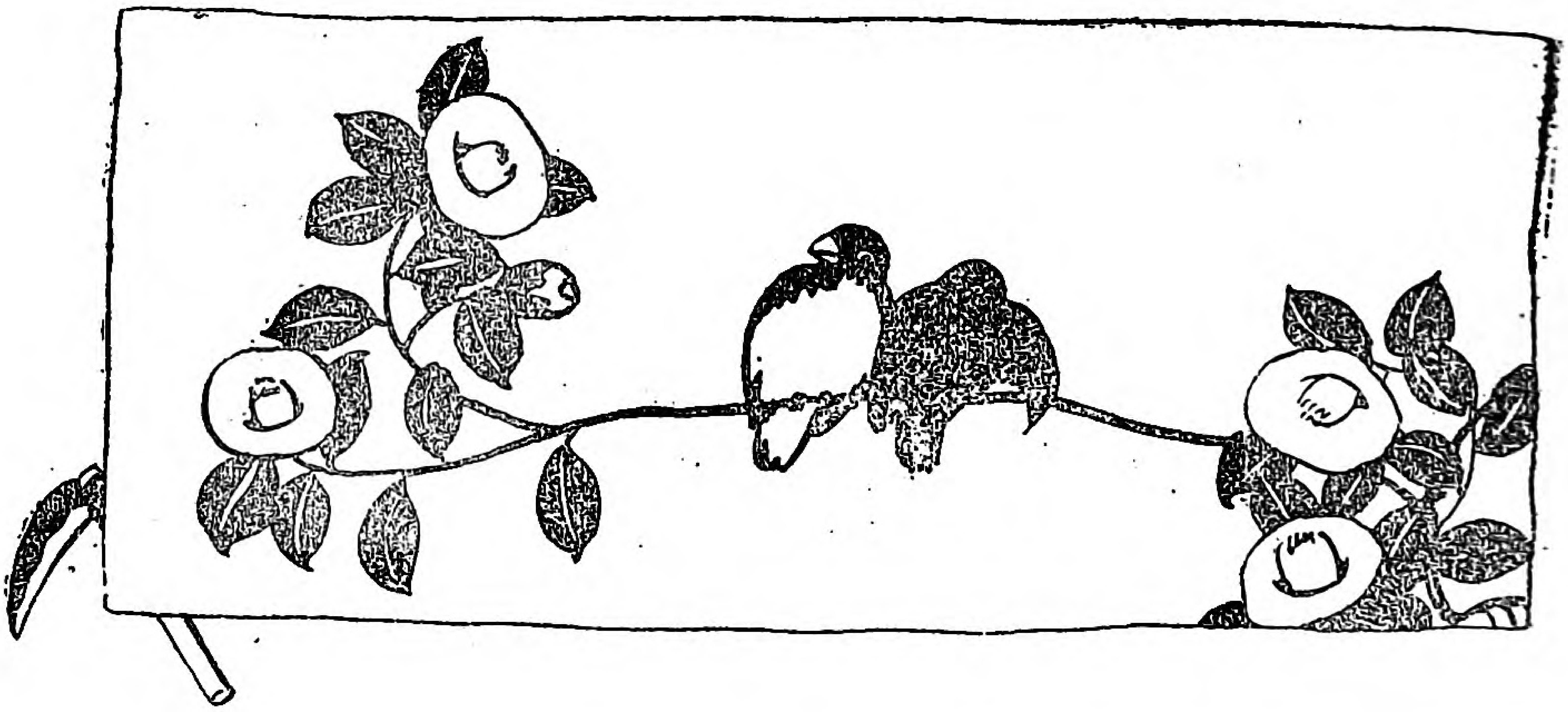
大正九年七月一日發行

○表紙　□野の幸……田代紫光筆
○口繪　□處女會中央部評議員(二)　□地方處女會の活動

▲記事

▽福の神(卷頭)……一
▽結婚前の處女へ……內務省囑託　天野藤男……二
▽眞の美……山脇女學校長　山脇房子……一〇
▽鄕土を守れ……女子高師敎授　藤井利譽……一三
▽善き習慣を養ふべし……小林長吉……一五
▽賢い處女はこうして働く……一七
▽敬老劇『老の幸』(下)……小佐田良……二一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



▽皆さんからのおたより……二七

▽工場處女會春期總會（神奈川縣富士瓦斯保土ヶ谷工場）……三一

△歌劇『月の世界から』（上）……三三

▽活動脚本『都にあこがれて』（其十）……白雲生作……三九

▽『都にあこがれて』が田舍娘を救ふ……四三

▽全國處女會（婦人會）一覽（續）……四四

▽時間を大事によく守れ……四六

▽模範の女（福島縣猪苗代五十嵐みな子孃）……四九

▽處女歌壇……五〇

▽懸賞募集及考へ物發表……五一

▽誌友くらぶ……五二

▽編輯だより……五六

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女之友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

前共立女子職業學校教師
遠藤錠子　高田久子共著

新編裁縫全書上卷（着物の卷）

和裝菊判美製
金貳圓參拾錢
郵税金十二錢

最新刊

新らしく生れ出でた此裁縫書は從來からある多くの書よりも勝れて居ることは申すまでもありません。本書は多年教授上の經驗と其の技に實地熟達せられし兩著者が如何なる初心者にも手に取る如く分り易き樣に苦心を重ね、あくまで丁寧と親切を以て說かれ、其上に圖は現寸を比例して縮め、一目の下に解りよくなし、又圖を度るに重寶な尺度付の枝折をも添へ尚卷末には特に參考の部を設けて、最新の研究に係るものを配載し、時勢に後れぬことを期してあります。裁縫を學ぶ方々は本書によりて初めて滿足な上達が出來ることを疑ひません、婦人、令孃、學生、諸姉の良師に又教授者の參考に一本を備へられんことを望みます。

女子高等師範學校助教授
神田順子著

裁縫新教授書（上卷）

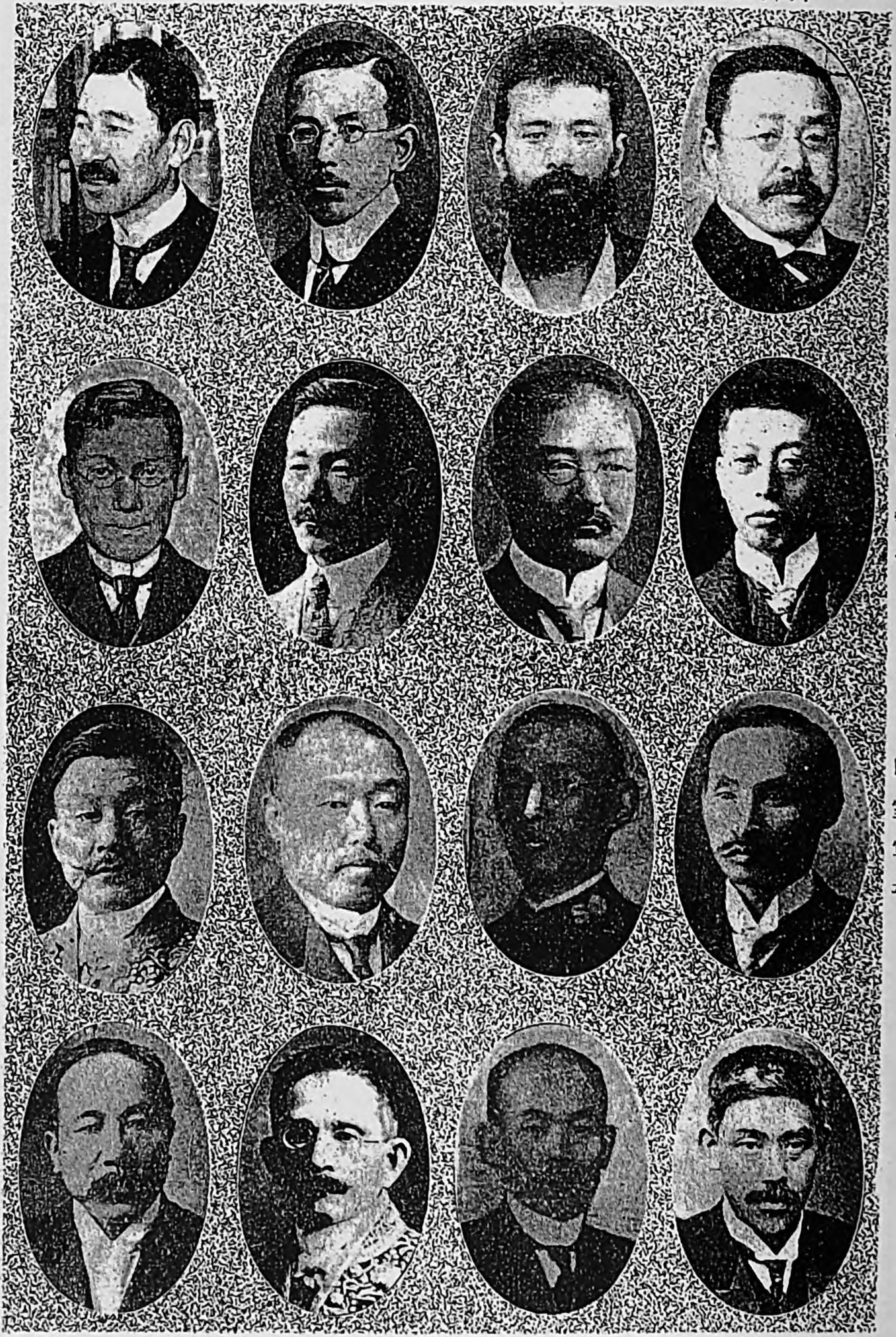
和裝菊版
定價金壹圓五拾錢
郵税金十二錢

東京市日本橋區通一丁目
大倉書店
振替口座東京二三八番

處女會中央部評議員（其の二）

早川千吉郎　加藤熊一郎　穂積重遠　窪田文三

右ヨリ 赤司鷹一郎　増田義一　嚴谷季雄　永井潜



右ヨリ 麻生正藏　山室軍平　澤柳政太郎　岡實

岸邊福雄　潮惠之輔　道家齊　留岡幸助

たのもしき乙女のつどひ

福島縣双葉郡長塚處女會

群馬縣勢多郡大胡町瀧窪處女會

（早乙女や子の泣く方へ植ゑてゆく）

福の神

手島堵庵

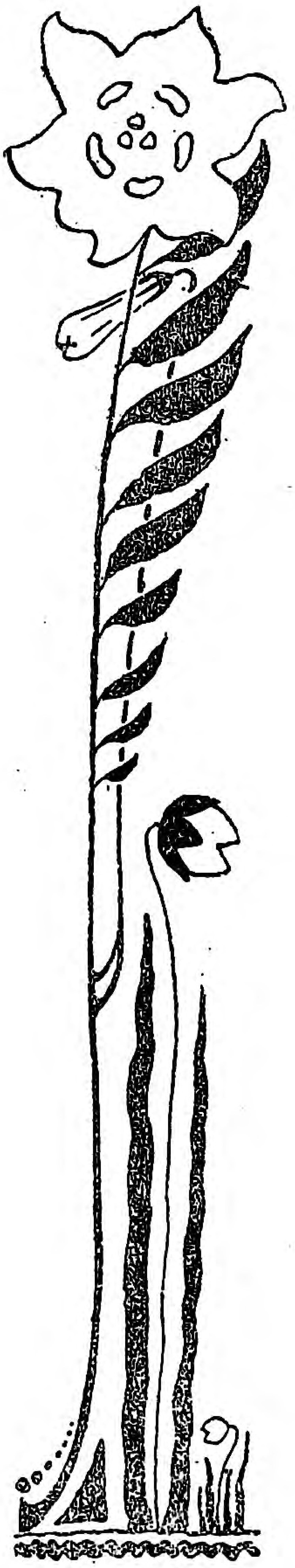
一、に一切すなほにて
二、に柔和で慈悲深く
三、にさからひ爭はず
四つ、よしあしわきまへて
五つ、五つの人の道
六つ、無理せず無理言はず
七つ、中よく交れば
八つ、家敷が繁昌し
九つ、子たちや孫までも
十、で富で榮えた福大極を見なさいな

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

乙女のなやみ

結婚前の處女へ

天野藤男



□いつそ娘の頃が

結婚して妻となり母となることは、必らずしも女の義務でも、唯一の天職でもないかも知れませぬ。然し愛し合ひ、信じ合ふ、むつまじい家庭をつくり、妻となり母となることは、女として一番自然なことであることは、萬人の一致する考へであると思ひます。

然し人妻となり、母となり家庭を營んだ爲に、却つて不幸に泣いてゐる女がどれほどあるか知れませぬ。日頃の理想も希望も達せられず、愛して育てた子供はわが思ふまゝにならず、心配の種子をまいて、味氣ない月日を送つてゐる女が多うございます。さういふ人たちの中には『あゝ女といふものは損なものだ、又の世には男に生れ變りたい』と袖を嚙んで運命を呪つてゐるものも少くないでせう。たとひ、それほどの苦しみもない人でも『矢張娘時代が一番氣樂だつた』と過ぎ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

來し若い春の思ひ出を胸に浮べて、人知れずためいきつかれる新妻もありませう。さうです、私は仕合せだ、何んといふ幸福な身の上かと毎日喜びに滿ちた暮らしをしてゐる人は、この娑婆には少いのでございます。此に又浮世の面白味があるのです。苦しみがなければ、悟りもなく、又悟つた上の樂しみもない道理です。

□お腹が空つて夫婦別れ

然し前に述べた通り、妻となり、母となることは、女としての最も光榮ある道ゆきでなくてはなりませぬ。妻となり母となつて、苦しみますのは、自分の不心得は別として(一)夫のよくないこと(二)子供のよくないこと(三)嫁入先の家の正しくないことに依ることゝ思ひます。この外に、人の力でどうすることも出來ない天災地變の爲又は、社會の出來事の爲に、一口に言へば、運命の爲に苦しめられることもございますが、是は神ならぬ身の御同樣に、どうすることも出來ないことで、其こそ諦めるより外致し方がないのです。又この世の中の組み立ての正しくない爲に夫婦が苦勞することも多うございますが、是も一人の力ではどうすることも出來ません、大勢の人が一所になつて社會の制度を正しくするより外致方ありません。

さういふことは別として、若い乙女は、幸福な家庭に入るべく、先づ以てどういふ心掛が必要でせうか、其は申すまでもなく、夫となるべき男の選み方を注意することです。夫にとつて妻となる人のよしあしが生涯の問題であると共に、妻にとつて夫の如何は、生涯どころか子孫までの幸と不幸の岐れ目なのです。四百四病のその中で、貧の病ほどつらいものはないとか申しますが、心の惱みは、或場合には貧に優るつらいものです。互に愛し合ひ、信じ合つて暮らしてゆけば、たとひ一杯のごはんを半分づゝ食べてもお腹に滿ちます。お腹が滿ちなくても、心が滿ちます。私どもはまだ仲のよい夫婦が、一杯のごはんを爭つて夫婦別れしたといふことをきゝません。愛する夫が病氣になつた爲に嫌になつてすぐ見捨てたといふ不實の妻も多くは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ないことゝ思ひます、けれどお互の心に隙があり、シツクリと合はなかつた爲の夫婦喧嘩や刃物沙汰に至つては、もう見たり聞きあきてゐます。してみると心の滿足が根本です。愛はすべての本です。愛のある所に眞理があります。

□若い娘が荒海へ

皆樣の多くは是からお嫁にゆき、妻となり、母樣となられる望みの多い年頃であります。十分に是等のことを考へ、準備をせねばなりません。昔ならば、只ぼんやりとしてゐると、お母さまからお嫁入をすゝめられる。媒介がほめる。若い娘は、眞赤な顏して袖で顏をかくしてしまふ。相手の男が、どんな性質かどんな趣味をもつてゐるか、ソンナことには一向頓着ないのです。つまり家と家の結婚、親と親、媒介と媒介との結婚なのです。その中に支度が出來る、式をあげる、親類中集つてお酒をのむ、馬鹿さわぎをする。支度については隨分財産不相應なことを致しますが、其よりか肝心な心の準備については、世話を致しません。只お互に『年頃だから』『もう徴兵檢査もすんだ』からといふやうなぼんやりした考へで結婚するのが多かつたのです。其でまあ無事に納まつていつたのです。然し今は是ではいけません。結婚といふことについての理解がなくてはいけません。私は、結婚は徒らに、喜び、噪ぐべきものでなくて、寧ろ苦しみの門出であると思ひます。今までは、親の家に、お袋に抱かれて甘へてゐた、其が新に妻となつて、夫と共に世渡りの道づれになる。今までは、親舟に乘つて、只あたりの景色をみながらにこ〳〵してゐた、お化粧をしてゐた。どこへゆかうと、風が出やうと、其は父さんの漕ぎ手とお母さんの舵取りで無事だつた。然し是からは、皆さんが自分に舵取りとなつて、夫を助けて荒海に舟出しなければならぬのです。

□結婚は苦しみの門出

是からの船頭さんになる夫も心配です。昔ならいゝ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

家に住んで、祖先代々の財産もあり、お嫁を貰つても親のなさけで、親が舟を漕いでくれました。お嫁さんは只人形の樣にぼんやりしてゐました。然し是からの船頭さんは、家もない、財産もない人が多い、住む土地も定つてゐない、西に東に南に北に、町に田舍に、外國へまでも押し渡つて働かねばならぬ。ほんとうに腕一本、脛一本です。渡る世間に鬼はないと申しますが、世の中の人が殖え、暮らしが大變になつて來ますと脊に腹は換へられず、ソウ人のことにかまつて居られなくなります、隣り近所も赤の他人といふやうになります、ですから一層夫婦は心を合せホンキに働かねばなりません。

こういふ世の中ですから、若い乙女は、只ぼんやりとした考へで、お嫁入りしてはなりませぬ。結婚は樂しい門出であると共に、苦しみの門出です。遊びに出る門出でなくして、競爭の門出です。はづかしいものでなく、決心の入るものです。

仍で私は皆さんに夫の選び方を注意なさることをお勸め致すのです。誰も惡るい夫を選ぶ女はございますまいが、念には念を入れて、うはべばかりでなく、心の中まで看破して夫定めをしなければなりませぬ。と同時に夫の方でも是からは、シツカリした相談相手になる女を見定めねばなりません。近ごろ段々こうなつて來ました。當り前のことです。

□人格は心の財産

『容貌より心』と申します。男でも女でも容貌より精神を主もにして居ります。殊に女から見れば、男の容貌は二の次です。男らしい凜々しい所がある青年ならば鬼の樣な顔でも理想の夫です。ニヤケタ青年、殊にお白粉つけたり赤いものを身につけたりして、女の心を誘はうなんぞといふやうな青年には、斷じて目をくれなさるな。凜々しい男の目から熱い涙が流れます。

一口に言へば人格です、正しい行の人です、財産もなくて宜しい、家もなくてよろしい。ソンナものは、死物です、只その人の人格はその人のつきものです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

どこへいつても離れるものではありません、人格は心の財產です。皆さんは是を夫選みの根本の條件としなければなりません。わかり易くいへば、强く優しくまじめに働くたのもしい青年です。顔は黑くとも、容貌は醜くとも、どこかに品のある所があるすゐたのもしい青年と結婚しなさい。さういふ青年を父母にも搜して貰ひ、又媒介からも世話して貰ひなさい。只月給を澤山取るとか、家の財產が澤山あるとかソンなところに、ほんとうの人の仕合せがありませうか。夫婦はひとつ身體も同樣、貧乏して、食ふことが出來なかつたら、一所に抱き合つて死んでもいゝ。其はどんにか滿足なことでせう。

愛です、愛に滿ちた生活こそ男も女も誰でもの望みでございます。金や、家でほんとうの愛が起りませうか、固よりこれからは、食はずにはゐられません。衣食を得る途を考へることの必要は申すまでもないが、薄情の金持の夫より、同情ある貧乏の夫が優ります。男子の方でも皆は只きれいな人形の樣な女を望んでゐましたが、其がすつかり變つて來ました。きりようは少々はわるくともシッカリとした、悧口な、身體の丈夫な嫁さんを望む樣になりました。たのもしいことゝ思ふ。

□全體誰の妻か

尾の道の柴原さんが人格卑しく、酒をのみ、花柳病にかゝつてゐる青年とは結婚しない樣にとも申し合せの會を作つて居られることは、いつぞや皆さんにお話し致しましたが、近頃方々の處女會がこういふ申し合せをしてゐる事實をきゝまして、私は非常に愉快に思ひます。處女の爲の青年です、皆さんがこういふ覺悟でゆくと自然と青年は品性もよくなり、女に對する見方も變つて來ます。禁酒の運動も實現されます。私は全國の處女がこういふ同盟をする時期の來ることを望みます。

又近頃青年會及處女會長が結婚の媒介をする樣になつて來ましたことも注目すべきことで、非常に結構

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

なこと丶思ひます。父母の外にこういふ方々に青年男女の人物を見定めて貰ふことはたしかのことです。其の一方には、皆さんも、結婚については、發言權をもつて遠慮なく本人の人物を檢査し、心に叶はなかつたらキッパリお斷りなさい。全體誰の夫ですか、親の夫か、自分の夫か。

□いろ〳〵のなやみ

所でさういふ考へを皆樣がもつてゐられてもいろいろの事情でさうゆかぬ場合が多いのです。仍で「なやみが」起ります。いろ〳〵ありませうが主なものは

一　親や親類が勝手にきめてしまつたなやみ
二　自分がきめた夫を親が許さぬなやみ
三　自分が定めた夫に、他に女があるといふなやみ
四　自分が思ふた男の血統のよくないことがわかつたなやみ
五　年頃になつてもお嫁入口のないなやみ
六　家庭の事情でお嫁入りが出來ぬなやみ
七　身體のわるい爲に結婚の出來ないなやみ

といふ樣になること丶思ひます。

この中(一)については本誌の三月號に大體のべてありますからごらん下さい。二は一の逆とも考へられますか、この場合には、よく心を落ちつけて、矢つ張親を納得させることが一番です。誠心を絞つて願へば、親も聞いてくれませう。無智な男女は、將來のことを考へずに、駈け落なんぞするものですがお互に熱し切つてゐる間は、前後の深い考への起らぬもの、つまりは親の厄介になるが落ちです。よく〳〵注意すべきことです。第三の自分が心に置いた青年に他に女のあつた場合、こういふ場合も少くありませぬ。然しこの場合の男についてもいろ〳〵あるもので夫と定めた男が不品行であつたりして兩方の女を愛してゐたとすれば其こそ不都合千萬で、ソウいふ男を理想と思つた此方が却つて不德といふものです。然し相手の男は此方を愛してゐるのに、親が他の女を嫁はせやうとして男に迫つてゐる樣な場合も少くありませぬ。かやうの時も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

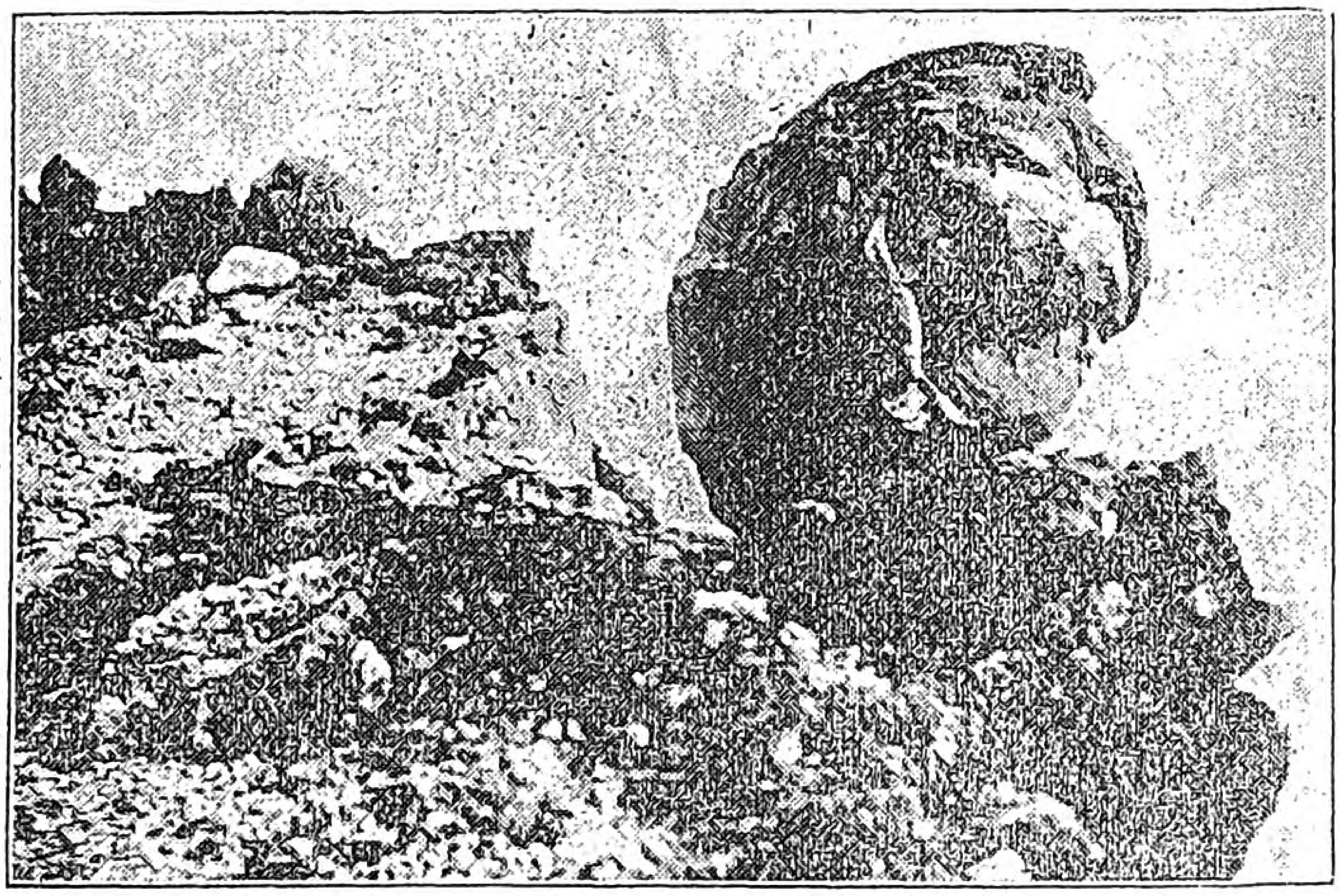
お互にかるはづみの行爲に出でざるやうよく〳〵落ちついて事を運ばねばいけません。この場合には、相手の男の態度が根本です。

(四)も不注意と云へば其まで〻すが、血統上のことはよくわからぬもの、萬一こういふ場合には、あきらめるがい〻と思ひます。其が出來ぬ場合には子孫をどうするかよく考へて結婚することです。

□なるべく遲く結婚せよ

第五の年頃になつて緣遠いなやみ、是にもいろ〳〵の理由がありませう(一)身體の事情(二)家の暮らし向(三)不器量(四)親が手放さぬ(五)自分の我まゝ(六)あれもいや之もいやと好きこのみしたことなどいろ〳〵ありませうが、相當の智識をもち、一通りの女の藝が出來ますれば、必らず〳〵お嫁入り口はあるもの決して〳〵落膽してはなりませぬ。三十、四十になつて初婚の人も多いのです。最近の統計をみますと、男は二十五から三十までの結婚が一番多く、女は二十から二十五歳までが一番多うございます。昔ならば二十を越して獨りでゐますと、肩身が狹いなんぞといつたものですが、今では、あまり早く嫁入りすることそ却つてはづかしくなりました。男子も三十歳から三十五歳位が一番適當な時期となつて來ました。あまり晩婚もいけませんが、二十五歳前後でお嫁入りしないとて決して心配してはなりません。

富士山頂上だるま岩（沼津はる子寄）



第六は家庭の事情で嫁入りが出來ないといふなや

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

み、是はお氣の毒でございます。然し昔とちがひ、家風とか、家庭とかいふものは時代に伴はねばならなくなりました『家の爲』といふやうな理由で、娘を束縛する樣な家は少くなりました。

最後の(一)身體の極めて弱く結婚して夫に仕へる力のないもの(二)不具者(三)現に病氣あるもの(四)血統の正しくないもの是は殊にお氣の毒でありますが、其にしても其を承知の上で適當の人があれば、結婚する方がいゝと思ひます。緣の糸はどうしてどこに結ばれるかわかりません。血統が惡しくとも子孫を設けぬやうにして結婚する方法さへあります。自分の罪ではないのですから、正しいことです。

□神に仕へて

然しかやうの人は、出來るならば信仰の生活に入り神に近づき、心身を淨め、世の中の不幸なる人を救ふ樣な方面の尊い仕事に働いて欲しいと思ひます。さもなくば、專心に學問を勵んで世の中に貢献する樣にありたいものです。昔から獨身の婦人で世の中に功勞のあつた人は、東西を問はず少くありませぬ、女は廣い意味ですべての人の母です。自分に子を產まんでも母の愛は注がれます。基督は萬人の父として仰がれてゐるではありませんか。

全國三百萬の處女たちよ、おん身の前には、光明なる花園があると共に、暗い危險な谷もあり川もあります、足許は固より、遠い〳〵先きをみわたしつゝ進みなさい。

良妻

松村介石

所謂理想的の夫人は、勿論鈍にあらず、愚にあらず、亂にあらず、而して其の智慧は賢妻以上であるが、其の才氣を外に顯はさず、學問があつても鼻にかけず、意見があつても無暗に吐かず、如何なる頑石をも愛情を以て溶かさんと試み、少々不同意の事にも、同情を以て助けんとする所謂神佛の如き心掛の人である。斯かる人になれば、何事にも夫より相談する樣になる、相談した上で、夫が其の通りにせずも、矢張り夫の方を智ありとし、之に從ひ、之に贊助し、少々夫が馬鹿でも之を立てゝ世間で夫の顏が立つ樣になり、影になり日向になつて苦勞する、誰某は仕事が出來るが、あの細君がある故だと、人に謳はれる樣な事を成さす、而も其實非常の手腕家にして美德の權化たる者である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

眞の美

山脇高等女學校長
本會理事　山脇房子

美しいものほど人の目をひきつけるものはありませぬ。ですから、花の盛りには皆お花見に參りまするし美術展覽會はいつでも賑はひます。呉服屋の飾り窓にでも、友禪模樣がかけてありますと、道ゆく人が立ち止つて眺めます。善とか惡とかいふことは、相當に知識が出來なければわかりませんが、美とか醜とかいふことは、知識がなくても見わけがつきます。赤ん坊でさへも、赤い色を見ればすぐ手を出します。これは、人の本性が美を好むからであるに相違ありません。さうしますると、多くの人に好まれ、愛せられるには、美しい人にならねばならぬこと、是は申すまでもありますまい。

○

しかし、いくら顔ばかりが美しくても、きれいな着物を着かざつても、お化粧をどれほど上手にしましても、心が美しくなくては、お金の入つてない紙入と同じで、役に立ちませぬ。紙入はお金を入れるためのものですから、お金がなければ用をなさないやうに、人間の身體は心といふもの丶容器ですから、容器ばかりがいくら立派でも、中身がそれに伴はなければ、何の値打もありませぬ。容器よりも中の品物が大切であります。出來ることなら、容貌も心も共に美しく致したいと思ひますが、容貌はうまれつきですから、自分でどうする事も出來ません。それに、工場や野仕事に働いて居られる方などは、着物のよごれないやうにすることは出來ないでせうからどうしても心を美しくして

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

それで人に愛せられるやうお努めにならねばなりませぬ。そして其の方が、容貌ばかり美しいのよりも、善い事であり、貴いことで、結局は自分の幸福になります。

○

けれども、心が美しくても、其の表はし方が不十分では、丁度精巧な機械が活動しないのと同じですから、美しい心を外へ表はす工夫が必要であります。それは、いつでも愉快な顔付をして居ること、言葉づかひを丁寧にすること、擧動を禮儀正しくするといふ類で、之を注意いたしませんと、折角の美しい心も、人には美しいと見られず、あの人は何か怒つて居るのじやあるまいかと思はれたり、あの人は失禮な物のいひやうをする、きつと私を輕蔑して居るのだらうなどゝ誤解されたりいたします。

初めに、人の美といふものは容貌ばかりでなく、心の美が大切だと申しましたが、容貌と心の美の外に、今申した動作の美(表情の美と申してもよろしい)といふものがそれに加はらなければ、完全の美とはならないのであります。そして此の三つの內、一番大切なのは心の美、次が動作の美、第三番目が容貌の美でありまず。所が、その順序をあべこべに考へて、容貌を一番に考へ、其のために浮身をやつす處女達の多いのはまことに殘念であります。

私の知つて居ります人に、今年十六の處女がありますす。容貌は美しいといふ方でありませんが、心がまことにやさしくて、同情に富み、又いつでもニコ〳〵して、愉快らしく見え、母親に何か用をいひつけられても、まるで自分の氣に入つた遊びでもする時のやうにハイッと氣持よく返事して、すぐ立ちます。休みの日にお友達同志で遊ぶ時でも、自分が面白く遊ぶ事よりは、お友達を面白く遊ばせる事を考へ、いつでも快活にして居りますので、皆に愛せられ喜ばれて、近所や親類の人達でも『清子さん(其名)の顔を見ると腹の立つて居る時でも忘れてしまふ』と申します。此の處女などは、眞の美を具へて居ると申すのでせう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

郷土を守れ

東京女子高師教授
本會評議員　藤井利譽

(一)「君が代」に泣く

住めば都といふ、生れてそうして育つた自分の村ほど人に愛着の心を起させるものはない。始終同じところに住んで、同じやうな仕事をして居ると、何も心付かずに居るが、一ト度郷土をばなれて見ると、慕はるゝものは郷里の父母や親戚故舊である。思ひ起すものはあの山あの川などである。郷里懷しの感じは郷里を去つて見て初めて味はれる。私は曾て二年間外國に居つたが、故國の難有味、故國懷しの感をしみ〴〵と覺えた。或時のこと米國ボストン市に滯在中、米國軍樂隊の奏した「君が代」を聞いて非常に感激して仕舞ひ知らず〳〵歡喜の涙に咽んだことがある。西洋にはよい音樂がある。常に之を聞き馴れた耳でも、故國の國歌を聞かされては音樂のよしあし以外に何ともいへぬ一種の感情が起つて來る。皇恩に感謝する念を禁じ得ない。千代八千代に榮ゆる國運の前途を祝福せずには居られなくなる。誓つて君國の爲めに盡さでは止むべきぞとの覺悟は自然と强められる。かやうな感じは國にあるときも持つて居るには相違ないが、郷土を離れて見ると一層明かに感ぜられるのである。そうして此の感じは國内に在つて郷里を離れたときも、强さは違ふが同種の感じが起る。人は誰れでも此の愛郷の心を有つて居る。この自然に心の奥深く潜んで働いて居る愛郷の心はやがて護國の精神である。愛郷の心、護國

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の精神、これが私共の常に養つて强めて行かねばならぬものである。世界到るところ、如何なる國でもこの心の養成につとめ發達に骨折らぬところはない。

(二) 村に親んで

愛すべき鄕土、自分の生れて終に骨を埋むべき土地である。私共は常に思ふ存分に全力を擧げて、この鄕土を守り、田畑はよく耕され、山林はよく繁り、人の心は平和で、行は正しい、住み心地のよい村とし町として、私も人も共々に其の幸福を樂んで行きたいものである。若し此の鄕土がそこに住む人々から見離されてだん／＼さびれて行くやうでは、どうであらう、唯其の鄕土が荒れ果てるのみではない、日本帝國の國運に及ぼす影響は實にゆゝしきものであらうとおもふ。

米國といへば、ニューヨークとかシカゴ、ボストンなど大都會の名を聞かされ、何れも近世大都市の體裁に驚かされるが、米國の困つたところは、農業地方などの小村落が十分に繁榮しないことである。であるからこの村落を繁昌させて、生產力を大いに高めるとは米國の大きな仕事の一つであつて、政府も國民も共に力を盡し居る點である。如何に都會だけが繁昌しても村落地方が衰へて居つては一國の榮えないといふとは何處の國でもおなじことである。村に住み土に親しんで居る人々の愛鄕の心から湧いて出た努力が、如何に國全體に及ぶものであらうか、今更之を說くには及ばない。

(三) 日本の女の方が强い

私は此間墓參の爲めに鄕里の村に行つて、村の人々も會ひ又其の人々の野に山に働く樣を見たが、何れもに眞面目な態度で眞劍に働いて居る。特に婦人が男子と連れ立つて鍬鋤をとり、男子に劣らず働いて居るのを見て今更ながら農村婦人の健氣な雄々しき樣子に驚された。先年英國や米國の婦人が、戰時に際して諸種の軍事に從事し、特に農事に働いたのを見て、外國婦人は偉らい働きをする、男子のすることを皆引受けて働く女丈夫であると人も我も感心したのであるが、之を我が農村婦人の水田の中に立つて男子と伍して立

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ち働く働き振りに比べて見ると遙かに日本婦人の方が強い樣に思はれる。外國の農業は機械を使ふことが多い、而して水田ではない畑地を耕すのである。彼等婦人は輕裝の靴ばきで野に出て行く、其の仕事の輕易なこと日本婦人の強い荒い野良仕事に比すべきではない。私は農村婦人の強い力と心を持つて居るに驚き且つ其の力と心の働きの現はれが何程村の爲めに家の爲めになり、延いては國の御爲めになつて居るかと思つて賴母しく感じて居る。

(四) 鄕土は赤兒

人の母となり子を生み　之を愛育するは婦人の最大の務である。婦人の天職である。之のやさしい母心は又いろ〳〵の方面に表はれて人の喜びと感謝とを受ける。鄕土を愛し之を守るのも亦婦人の母心から出て行くものが一番強い。鄕土は例へば母の恩愛に育つ赤兒の樣なものである。婦人の母心の慈愛を注いて育て上げて行かねばならぬ大切な赤兒である。山でも野でも道路橋梁等あらゆる村の有形無形のものは一として、慈愛に富める婦人の手にかゝらないものはない。強さに於ては男子には及ばないが愛の力に至つては婦人の母心に及ぶものはない。大切な鄕土が一度婦人に見離されたらどうであらう、學問もよし技藝もよい知識を研き道德をすゝめること素より重要である。しかし我が鄕土は之を愛し之を守つて吳れる情あり力ある婦人を求めて止まない。女學校位は是非卒業して野良に働く勇氣のある婦人を歡迎して居る。都會に見る樣な美しい粧をしてゾロ〳〵して何の爲すこともなく、無意義に暮して居る婦人には用事はない。これからの婦人は家の内外に在つて最もよく働かねばならぬ。働いて鄕土の爲めに盡し鄕土を堅固に守つて欲しい。

月さへも高きに住めば障あり
おきふしやすき草のさむしろ
　　よみ人知らず

神こそは野をも山をも作りおけ
人は誠の道をふめとて
　　九條基家

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

善き習慣を養へ

小林長吉

□

西洋の古い諺に「人は蒔きたるものを苅り取らざるべからず」といふ語があります。英國の諺には「行爲を蒔けば習慣を苅り取り、習慣を蒔けば品性を苅り取り、品性を蒔けば運命を苅り取る」と申してあります佛敎では因果應報と申しますが、右の諺と共に貴き敎訓であると思ひます。

□

凡そ一つの事實があれば必ずその原因がありますし、原因があれば必ず結果が之に伴ふといふことは申すまでもありませぬ。所謂樂は苦の種子、苦は樂の種子であります。孔子は遠き慮なければ必ず近き憂ありと誨へられましたが、これ亦因果の相伴ふことを示されたものであります。自業自得とか汝に出でたるものは汝に歸へるとか云ふ語は多く失敗とか蹉跌とかの如き場合に用ひられる樣であるが成功なり捷利なりの如き光明の側面にも同樣なのであります。「汝の腕もて汝の運命を作れ」といふ語がありますが、實に人は自己運命の開拓者でなければなりませぬ。棚から牡丹餠がひとりでに落ちて來るのを待つ如きは智者の爲ざる所であります。高遠なる理想を描いて居ても、之を實現すべき努力を缺いたならば畢竟空想に終ります。年少くして元氣の漲る時代に、人一たびせば己之を十たびせん、人十たびせば己之を百たびせんの覺悟を以て奮勵精進しましたならば、爲すこと成らざる筈がありませぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

口

翻つて美はしき人格者とは何ぞやと考へて御覧なさい。要するに善き習慣を多く重ねた人といふことになります。さてその善き習慣は善き行爲を繰り返した結果に外なりませぬ。かくて行爲を反覆して習慣が出來上りますと、所謂習慣は第二の天性なりで天性の動かし難きと同様、拔くべからざるものとなるので即ち品性が成立したと申すことになるのであります。されば善き習慣を持てば人に敬され尊ばれ自ら幸する譯でありますが反對に惡習慣がつけば人からは卑まれ忌み嫌はれ自ら苦しまねばならないのであります。かく考へて見ますと到底人は蒔きたるものを苅り取らざるべからずで向上するも墮落するも、つまりは己自の心からと云ふより外ありませぬ。順境に居るも逆境に立つも自分が撰んだやうなもので有りませう。然るに人は幸福ならんことを望みながら之に達する道を考へず、不幸に陷らざらん事を希ひながら之を避くる所以を省みない者が多くありますが、これは恰も源の濁つて居るのに末の清まんことを求むると同様でありませぬか。「君子は本を務む」と申しますに本を忘れて末にのみ走るは思慮ある者のせざる所であります。本とは何ぞ。善習慣の養成であります。

鎌倉長谷の大佛

(江の島 榊原さみ子)

習慣は第二の天性
朱に交はれば赤くなる
其の人を知らんとせばその交る友を見よ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

賢い處女はかうして働く

米國 ドレッスザー氏（意譯）

人の本性はなに？

作業とはどんなものかを理解するが爲には、先づ人間といふものの性質から研究しなければなりませぬ。太古は此作業といふものを大層賤しめたとのことであるが、勿論それは一片の神話に過ぎますまい。咀ふべきものは遊惰であつて作業ではないのであります。

さて人間そのものは、本來活動的なものであります。此活動によつて人は言ふべからざる滿足を感ずる。子供の時から人は野心滿々として居つて、自分といふものを表現さうと熱望し、すべての妨害に打克つて何事かをたくらんで居るものであります。從つて人が若し不活動に陷る樣なことがあれば、それは眞實の自分といふものでなくなつたのであります。人が此世に生れ出でたのは、皆何物かを世の中に貢献せんが爲なのであつて、若し橫着をして其責任を果さぬ樣なことがあれば大なる罰金を拂ひ、又多くの幸福を失はねばなりませぬ。

人は其持つて生れたものに由つて、其生活に値打が出るのであると思ふのは間違であります。例へば親の遺産に賴つて得意な顏をして居たり、天賦の才能に自負心を起して怠けるやうなことは、最も嫌ふべき事柄であります。私達の持つて生れたものは、自ら之を保ち得るだけのことをなし、之を安らかに保持し得るやうにしなければ、何時私たちの身を離れるかも知れません。財産はよしや私達の前に積まれることが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あつたとしても、然も本當に私達のものとなるのは、自分の勞力に依つて獲たものに限ると言はなければなりませぬ。自分の働きに應じて、物事を造り出したり工夫したりすることは人間の天性であります。それですから、心から自分の職業に身を入れて居る人ならば幸福は求めないでも幸福は自から與へられるでありませう。自然は決して無代價で物を與へる樣なことはしないし、又半額で物を賣るやうなこともしない。爲すべき仕事にありたけの力を注ぐ人は、屹度永久に滿足を享けることが出來るのであります。

愉快さうに働く人

最も愉快さうに働いて居る人を見ると、その多くは屹度高い目的を懷いて居るやうです。此世の中で求めなければならない値打ある目的、例へば眞實なことや善良なことや、優美なことを好み人類を愛する念を以て心を滿さなければなりません。さすれば働くまいとしても働かずには居られなくなり、且つ働いて居ても働いて居ることに氣付かぬ樣になるでありませう。最も愉快な勞働者とは目的を有する人の意であります。唯斷片の仕事ばかりして居たのでは勞働の滿足を感ずる譯には參りません。之に反して自分の現在の活動をば、自分の生涯の尊い經驗の一つでありとし、之を愛し、之に全力を注ぐ人は、眞に勞働の神聖を知る人であります。結局今自分の從事して居る仕事が如何な種類のものであるかは問ふ所ではありません。要は其時其時の仕事を立派に爲し遂げることにあるのであります。

作業が、立派な目的を以て、立派に爲し遂げられたならば、それは他樣に對しても大なる敎訓となるものです。例へて見ると、此處に一人の農家の處女があつたとする、彼女は今出來るだけ手際よく其田畑を見まはり、其作業を巧みに成し遂げた上に、尚友達の仕事へも手助けして、立派にそれを仕遂げさせたとすればそれはどれ程尊い、そして値打のある行だか知れませぬ。斯うして行くうちに、彼女は初めて農家の處女と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

しての品性といふものを、立派に發達させて行けるのであります。そして彼女はやがて、自然を知り、且つ自然と共に樂しく働くことを本分だと悟ることが出來るに相違ないのです。彼女の人道的良心と言ふものは、作業其物から喚起され、自然そのものが直に彼女の爲に教師となるのであります。之れですから勞働する人々の口から、此世で最も爲になる言葉が初めて唱へ出された例は尠くありません。

働けとは天の御告げ

働くと言ふことは、神樣にお參りすると言ふことと同樣であります。ですから立派に働く人は多く祈禱する暇がなくてもそれでよいのです。然し其反對に參拜すれば働く必要がないとは言へぬ。從つて働くを要しないですむやうに祈禱するのは大變な心得違であります。尤も神樣はそんな願はお聽屆はありますまい。申すまでもなく、作業は力の表現であります。孔子樣は「天體の活動は絶えず息まず盛である、それで立派な人はそれに劣らず自彊して止まない」と言ふ意を述べて居られますが、實際天の命じたことを爲す人には殆ど他のことを爲すべき暇がない。之が爲に、或は餘り働きすぎるとか、交際をせぬとか、種々の非難を受けることがありますが、此樣な非難は神聖な作業を知らない怠けものの言ひ草に過ぎません。凡そ何事を問はず、それを立派になし遂げやうとすれば、一身を之に獻げねばなりませぬ。一心に働く人には時間の在るといふことを知らない。即ち現在に話す、且つ平均的に勞働を續け、間歇的に奮發するやうな損なやり方はしないのであります。骨を折らうとしない人は頻りに休息の必要を說くやうであるが、事實に於て人の心靈を救ふ力は作樣であつて、休息ではない。休息は作業の手段であつて決して目的ではないのであります。

これが賢い働き方

故に能率の高い作業者とは、作業に其全心を打込み當面の仕事に熱中し、其力を鍛練し其體力を利用する

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

人でなければなりませぬ。努力を厭ふことなく之を表現すに都合の善い仕方が見つかれば、それを以て仕事の報酬だと思ふ人でなければなりませぬ。そして休息せねばならぬ時も、新しい元氣を出さねばならぬ時とを知りぬくと共に、作業が力の出口であることを信せねばなりません。これに仍つて人は無聊を感ずるやうなこともなく、作業も私達の爲には、生活の方法、喜悅の手段であると共に又一種の萬能樂なりと言ふことが出來るのであります。

以上述べたことをも加へて、今すべての作業者に取つて大切な要點だけを擧げると、

一、働くにも學ぶにも喜悅を以てすること。

二、命けられた事柄、課せられた時間表に順應ふこと

三、當面の作業を十分に成就させんが爲に、之に熱中すること

四、活動は突發的たらしめずして作業と休息との關係を適度に保ち、即韻律的として運動の無駄を省くこと

五、內心の沈靜を保ち、神經を落着かせ、急がず慌てず、當面の仕事を爲すに必要なだけの運動と相俟つて、心を平和ならしめること

六、働くのは自然の義務であつて、自分一個人のためのみではなく國の爲世の爲に、働いて居るのであるといふことを確く信ずること

右の法則によつて、私達が快く作業に携はることは、如何に尊くそして賴母しい事柄でありませう。賢こい處女達は屹度此の仕方で働かねばならぬのであります。

處女會中央部代理部

處女會中央部は麴町元園町一の四七番地に代理部を設けましたので東京で何か買物なさいます方は御申込みなさい。たしかで、安心が出來ます。

振替は五一六〇〇番です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

敬老劇『老の幸』（下）

小佐田良子

第五幕

姉妹廻覧成績を持ち來り、

姉「おばあさん私達の圖畫を見てお呉れ」

老婆「これは何の本や。」

姉「本でないの圖畫なのや。」

云ひ乍ら開く主婦それを側より說明す。姉妹は興深そうに見入る、次第にめくれて貞代の所が出ると松の木の寫生を見せる。

姉「これおばあさん、貞代のでございます。」

老婆「これがまあ〳〵この頃までわたしの乳ばかりいぢつて居た手で、もうこんなに上手に書けるのかい。まあこの枝振りのえゝこと〳〵この姿のえゝことほんまの松に見えるなあ。えらいえらい。しつかりおならひ。」

貞代ほく〳〵、

老婆「おばあさん又御褒美上げるよなあ。」

お年を刻んだ瞼の奥から喜ばしい瞳を輝かし御覧になる。

妹「おばあさん、今度何お呉れるの」

老婆「さあ、何を上げ様かなあ。」

妹「嬉しいなあ、お人形にしやうか、お豆入りのお菓子にしやうか。」

暫らく頭傾けて考へて居たが急に

妹「あゝそれより色鉛筆の方がいい。ぢやあおばあさん色のついた鉛筆買つてお呉れな。」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

老婆「まあよう考へてお置き。」
貞代作文を持ち來る
妹「此の中には兄さんのがあるよ。」
主婦「どれお見せ。」
とりて繰り返すその中長男の作文が出る。
靜枝「あゝ兄さんのがある〳〵。」
老婆「何ちゆて書いてあるのや。」
主婦「吾等の樂しみ」つて題なのです。
庭で、祖母の好きな朝顔に水をかけて居た長男だしぬけに
長男「おいその中に僕のもあるんだぞ。」
と大きな聲をして飛んで來る
貞代「まあびつくりした。兄さん何して居たの。」
大きな目してその方を見る、いきなり、
長男「母さん僕讀んで上げるからかしてお呉れ。」
母の手から取つて中をのぞいて如何にも面白そうにその本で顏を被つて二三度頭を振るそして讀み初める、側より
主婦「お前さんの字は相變らず上手だなあ。」
貞代そつとのぞきながら、
貞代「むつかしい字がえつとあること。」
長男「こりやあ「吾等の樂しみ」つて云ふ題なんだよ。」
大きな聲で讀みはじめる
長男「きのふは吾等の待ちに待つた學藝會であつた。うらゝかな良い天氣で校内には人の山を築いた。」
そこ迄讀んで急に思ひ返した樣に、
長男「僕一つその中の面白いのをして見せてあげやうかどれがいゝか知らん、えゝと……第一が……あの日のプログラムは。」
老婆「ポログランつて何のことや。」
長男「ハヽヽおばあさんポログランぢやあない。プログラムなのよ。」
老婆「はあはあそれがどうしたのや。」
長男「えゝと第一シャムの歌、第二がお菓子の種蒔き、第三がドンブラコ。」
貞代「あゝドンブラコには私が出たのよ。」

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

如何にも嬉しそうに
貞代「おばあさん、私は赤いおべゝを着て桃太郎になつたの。」
老婆「はあ、さあそれを一つして見せてお呉れ。」
貞代「ちやあねえさん桃太郎の歌唱つてお呉れ。」
兄に向ひ、
貞代「兄さん桃がないわ。」
兄さんは一寸考へて居たが思ひ付いた樣に手を打つて
長男「あゝいゝものがある。」
と臺所に馳け出して桃形の笊を二つ持つて來て、老婆の陰にて二つ合せて桃のつもりになしその中に貞代這入る。姉桃太郎の歌を唱ふ。

むかしむかしそのむかし
爺さまと婆さまがあつたとさ
爺さまは山へ柴刈りに
婆さまは川へ洗濯に
ヂヤブヂヤブヂヤブヂヤブ
おべゝを洗ふ川の瀬を
ドンブラコドンブラドンブラドンブラコ
流れて浮ぶ大きな桃の實
その桃こつちへ來い
大きな桃こつちへ來い
拾うて歸つて爺さまと婆さまは差し向ひ
割らんとすれば忽ちに

と唱ふと直ちに兄の持つて居た桃が割れる

おどりて出でたる赤ん坊

すると貞代が中からおどり出す
老婆腰を拔かさん許りに
老婆「あはゝゝこれはこれは。」
と滿面くづして笑はる。
主婦「まあ出かした出かした。」
とお腹を抱へて笑ひながら退場。

幕

第六幕

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

主婦麥湯を作りて持ち來る。すると門口で「郵便」と云ふ聲、主婦葉書を受取り登場して先づ麥湯をすゝむ。

主婦「どうぞ一つお上りなして」

老婆「あゝ面白かつた。それは〳〵御馳走さんやなあ、よばれませう。」

さもおいしそうに飲む。その間に主婦葉書の宛名を見て

主婦「山村かずえさん」

と小首を傾ける。

靜枝「貞ちやん山村さんよ。」

貞代「あゝかずえさんなの。」

姉妹「その方から何つて來たの。」

母の左右より覗く。

主婦「これはおばあさんに來たのですよ。」

麥湯飲み終るを待つ。祖母聞えぬ乍ら、三人の笑ましげな顔を見て美味そうに一口一口味はひながら、

老母「あゝあ美味しいこと」

と云ひつゝ飲む。しまりのない口許に三四滴こぼす。主婦すぐ拭ふ。

老婆「はい有り難う美味しかつた」

と喜ぶ。

主婦「宜しうお上り。」

と云つて湯呑みを受取りながら、

主婦「おばあさんにお葉書が參りました。」

老婆聞えたれどあまり意外なのに

老婆「おばあさんにつてかいな。」

主婦「はいそうでございます。」

老婆「まあどこからお呉れたの。」

と半ばいぶかしげに嬉しげに

主婦「おばあさん學校から頂きましたの」

老婆「はあん、學校から。」

主婦「今度まあ五日いたしましたら女の方等の同窓會つて云ふのがございましてもと學校に居ました、若い女のお方等が學校へ云つて色々爲になる事をなさい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ますの、その時にお年寄りのお方は村の寶や此の上もないお目出度いのやからそこへお出でゝ頂いて色々お祝ひ申したりお慰め申したりしたいからお出でて下さいつて書いてありますの。」

靜枝「みんなにお出でゝ頂き度いのやけれども今年は七十五から上の方に來て頂いて色々お祝ひするのやつて昨日學校でお話して居ましたのおばあさん。」

母の方に向ひ

靜枝「お母さん學校で昨日そんなに云つて居ましたわ。貞ちやん聞かなんだの」

貞代「おばさん學校へお出でるの、私送つて上げるわ」

と嬉しさう。

老婆「それはまあ有り難いことやなあ。ほんまにそないまで云うてお呉れて、ああこれも如來様のお慈悲と云ふものやなあ」

と感慨無量の體はや目に涙

老婆「ゆきたいがよう行くか知ら、あまり勿體ない様に思うて。」

主婦「おばあさんお送り迎へしますからどうぞお出でゝ下さいませ。此の上もない結構なお目出度いことですから」

老婆「はいそれでは行かして貰ひませうか。」

さも嬉しさう

三人「おばあさんどうぞ是非」

姉妹「おばあさん學校へあゝ嬉しい面白い」

長男「あゝおばあさん萬歳。」

と大喜び

主婦「そしておばあさん、あのおゆみさん(老婆の友達)もおばあさんより一つ下やつてお仰いますから、丁度よいお連れでございますわ。あゝそれから東(親戚)の祖父さんも」

老婆「あゝそうやなあ。みんな誘うて行きませう、行きませう。まあ有り難いこと」

老婆「お祖父さんもまあ二年お出でたらなあ」

と感深かそう

主婦「ほんとにそうで御座います。お二人お揃ひでした

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

らどんなにお目度いでせう。けれどもおばあさんどうぞお祖父さんのとお二人だと思ひなさつてお出でなされて」

老婆「そう／＼そう思つて居ませう。お祖父さんもきつと喜んでお呉れる、あゝありがたいありがたい」

と幾度も葉書を押し戴き嬉し涙に暮る。

靜枝「ああおばあさんその葉書佛樣へ供へておきませう。」

老婆「ああどうぞそうしてお呉れ。これも皆如來樣のお慈悲やなあ、あゝ私は幸福な事や、いつも／＼みんなにこんなに大事にして貰うてお上からまで祝うて頂いて」

と喜びに充ちつゝほろ／＼と涙を流す。

主婦「いゝえいゝえおばあさん、おばあさんの幸福はみんなの此の上もない喜びでございます。」

と云ひ乍ら涙を拭うて上げる。

長男「早くお父樣に知らせて上げやう」

と退場。

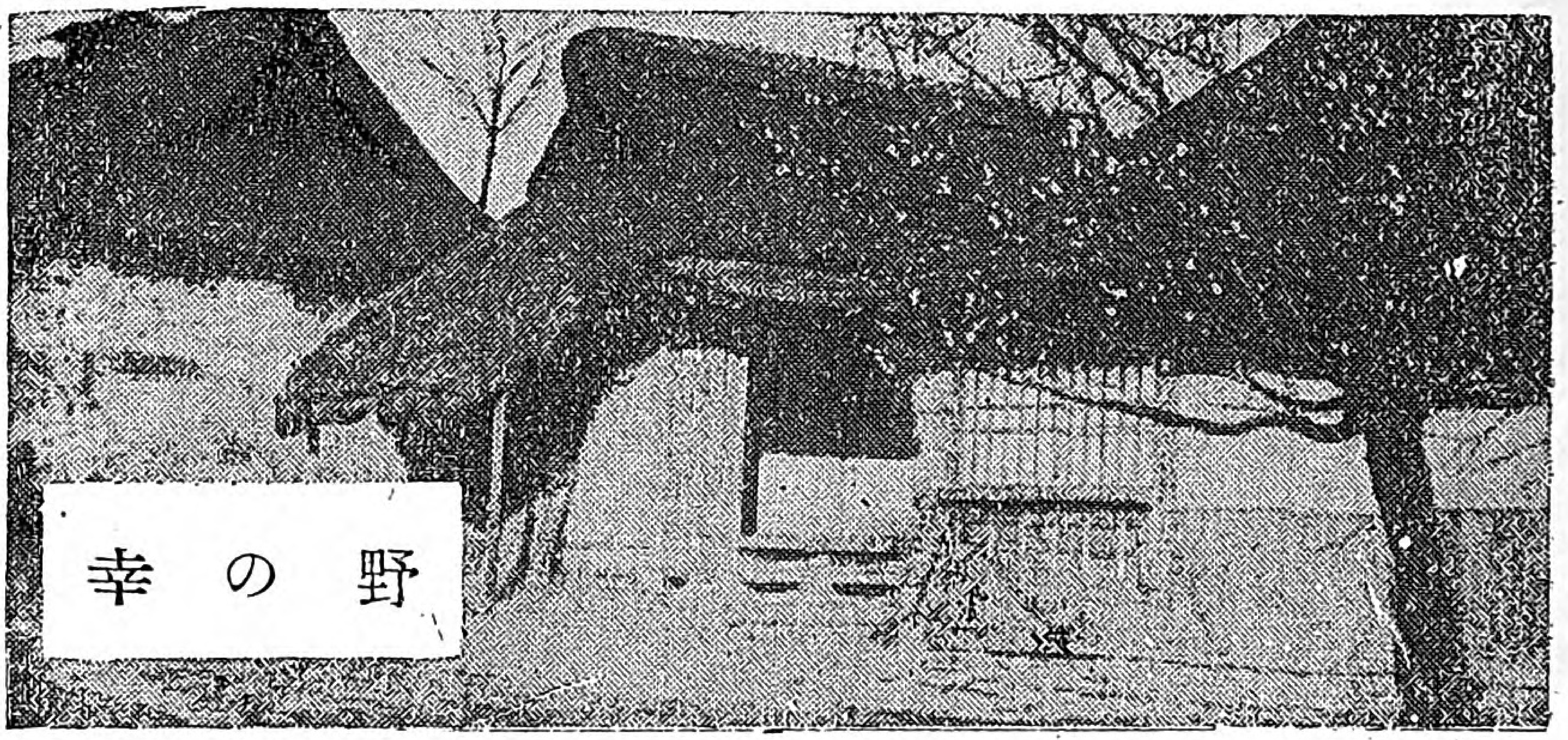
幕

鹽原の風景　（鹽原　みな子寄）

山に青葉山ほとゝぎす初がつを

近ごろみなさんから各地風景の寫眞や繪葉書を澤山送つて下さいます。ありがとうございます。ゐながら名所見物が出來ます。もつと澤山送つて下さい。説明をつけて。（君子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



皆さんからのお便り

一 私は都にあこがれましたが

德島 兼任ヒサヱ

亂筆御免ん下さい、此の節は餘程暖く成りました。記者樣には御壯健で入らせられますか、御伺ひ致します。

私は四國の片田舍に生れたる一處女で御座います。して小學校を卒業致し、裁縫の補習學校へ二ケ年ぶり通學致して居りまして本年の二月より愛讀者と成つて居りました。此の本を無二の親友と致して居りまして、月が變れば處女の友の來るのを指折りかぞへてまつて居ります。私も此の本を取らない内は他縣の都會へ行きたくて〱てたまりません。眞に都にあこがれてゐまして、寢ても起きても父母にさかろうて行かしてくれ〱と云つて居りました、そして友達は皆通信事務員とか、看護婦とか又裁縫女學校とかへ居つているのに私はなぜ行かしてくれないのかと朝夕友人をうらやんで、同じ人間で有りながらと、いつも〱思はぬ時は御座いませなんだが此處女の友を讀み初めてより、丸で取つて變つて心から眞人間に成

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

りまして、此の節では田舎に居て、養蠶業をして間に裁縫なども致して居ります。又夜は本を讀んだり、ほたるがりにも入たり歌も作つたり致して居ります、之皆處女の友の御蔭で御座います、どうか御安心下さいほんとに田舎に居る方が、いくらきやすいかわかりませんね、都會に行けは大分苦勞は有るそうですね、ゆふべ、ふと歌を作りました。

お蠶のねてゐるひまをひと休み
うらの小川に螢を狩りぬ

二　涙が頬を傳はります

岐阜　竹腰よさ枝

先生樂しい胡蝶の夢がまだ醒ぬうちに、早くも世は新らしいみどり葉に色どられました。折柄お變りもなく、私共處女の爲めお骨折り下さいますことを深く感謝致します、今日も野良より歸つて來ますと、指折數へて待つてゐた懷しいお友達が、部屋のすみの古机の上にニコ〳〵顔で私を迎へてくれました。

遠い東京からはる〴〵この山里へ旅立つて來てくだすつたお友達の、いかにもかい〴〵しいお姿に接して私は喜ばないではいられません。物靜かな山間のみにゐて少しも世間といふものを知らない私に、度々お訪ね下すつては、親しくお話して下さいますお友達の、御情厚い御心に私はいかばかり心强さをおぼゆるか知れません。今宵も家内の休んだ靜かな部屋の淡いランプの許で、私はお友達から世の中の色々のお話を承わつております。涙がほゝを傳る樣なお話、身も心もひきしまるような勇ましいお話も承まわりました。

お友達はおしまいにこんなことをお敎へ下さいました「山間にゐて結構です眞面な人間にならなければなりません、貴女方位の時が一番心の變りやすい時ですしつかりした心を養いなさいと」しみ〴〵お話を承わつてゐますともうたへられない程心持がよくなつて沈み勝な私も生れ變つた程活々した氣分になります。終日鍬を手にする私故定めし讀みにくい所が御座い

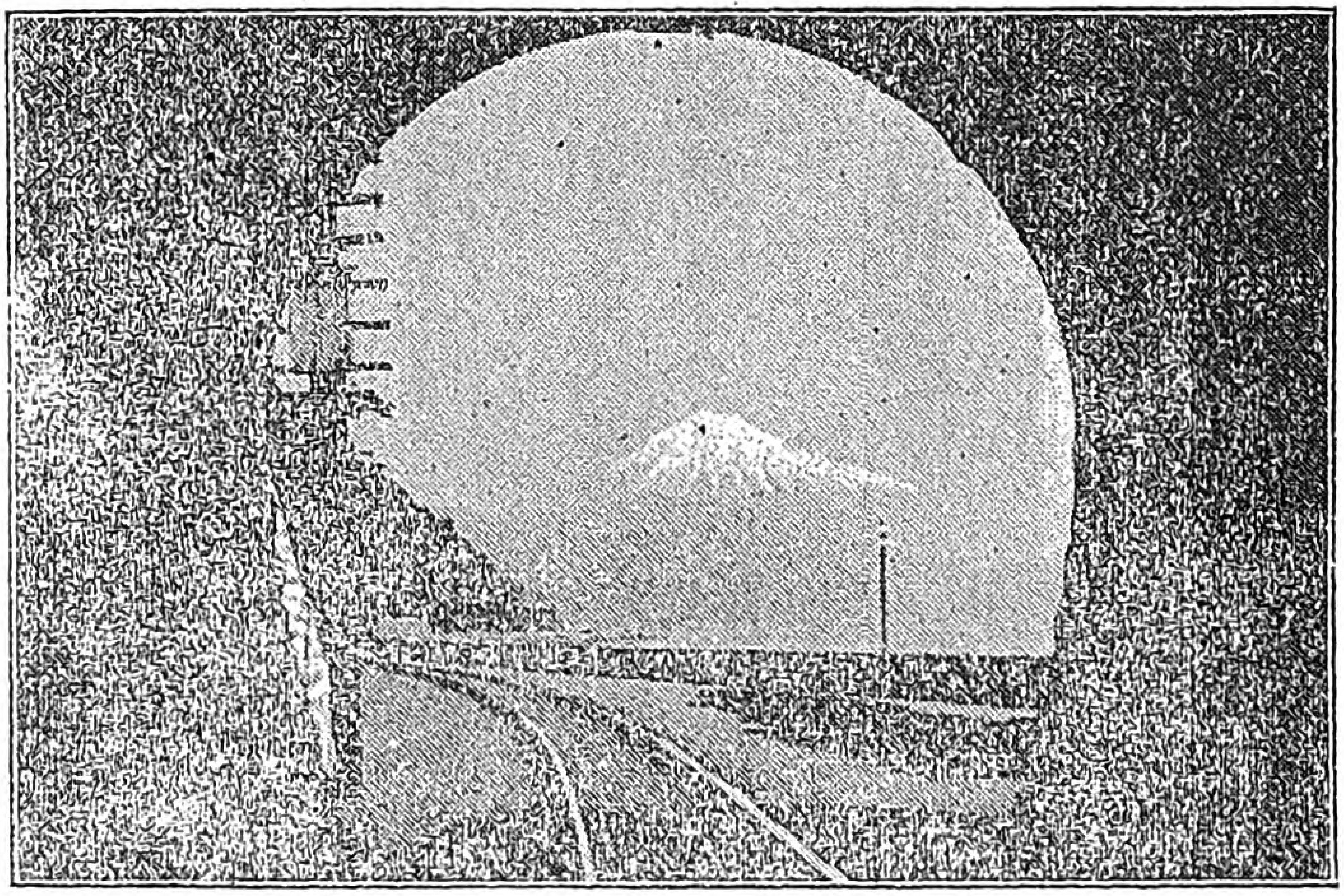
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ませうが何卒お許し下さいまし。

三　涙に袖をぬらしました

宮城　牟岐あい子

花はみな果敢なく散つて山吹の八重の盛りを靜かに徐に春は暮れやうとして居ります、待ちに待つた處女の友の五月號、病床に淋しい日を送つて居りました私は、どんな喜びを以つて迎へたことでせう。そして第一に表紙「野の幸」に描かれた處女の氣高い姿にあかず見入りました。清々しい若葉の頃に野に活動して、綠の木蔭にしばし憩ふて居るところでございませう。充實した有益の記事、頭痛のするのも忘れて、みんな一度に讀んで仕舞ひました。或は感じ、



興津さつた峠トンネルの富士　（江尻　清水きん子）

同情し、或は泣きながら、卷頭の「心の美人」その儘取つて座右の銘に致したいと思ひます。「都に憧れて」は中途から涙に字が曇つていくたびも眼を拭ひながらやうやくよみ終へました。ほつと息をついて枕を直し目を閉ぢた私は、我が身に引きかへ君子樣のおいたはしさに又新しい涙に夜着の袖をぬらしました、今日はよ程氣分もよく熱もなかつたので起きて筆をとつて見ましたが、手がふるへるやうで思ふやうに書かれず、ほんとうに殘念で御座います。丈夫になつて働きたいと思ひます。記者樣　下手なお習字誌上にお載せ下さいまして、皆樣にお恥かしう御座います。申し上ぐる事が順序もなくすみませんが私が先日岩手の安原政子樣に處女の友を御すゝめ致しましたら大

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

へん御喜びになつて早速愛讀者となられましたので私もほんとに嬉しうございました　政子樣は在學時代のお友だちです。

記者曰くあい子さまは只今御病氣でゐられます、お母さんとたつた二人きりで淋しい病床にゐます、あい子さんを皆さんでなぐさめてあげて下さい。

四　工場の友へ

四國の一女

K子樣久しく御無沙汰致しました、野も山も若葉にもゆる頃と相成りました、私は、畑から、鍬をかつぎて暮ゆく道を歸ります。K子樣今頃は何を成されて居る事でしやう、さだめし工場の寄宿舍にて、多くの友達と疲勞せる身を机に、なつかしい處女の友をお讀みでしやうね私も今日草葉の木蔭で處女の友をよみました。あゝK子樣と私は、仕事はちがへどお互に働く身ですわ、生きて行く上にいかにしても、働らかなければなりませんわ、ね、K子樣自分の職業の爲に、たふれるまでと言ふ決心で働きましやうよ、ほんとうに人間は働らけばこそ、生あり、樂みありですもの生の尊さを身に感じると共にお互に働きましよ、そしてつよくやさしく、まじめに働らけ主義で進みませう先はこれにて御身大切に

五　からしのアク拔き

香川　岩井つや子

私は處女家事心得二、三を記しますからどうか雜誌上に出して下さい、おたのみ申します。

一、からしのアク拔き

西洋芥子粉はアクを拔いてありますが日本芥子粉はアクを拔いてからでないと用ゐられません、乾物屋から粉芥子を買ひましたら、それを、丼鉢に入れ大根のおろし汁を少し入れて、さい箸でよく〳〵かきまぜそれを鉢の內側へ二分位の厚さに塗りつけ、其の上に美濃紙を一つぱいにはり付けます、其の上、沸立つた湯をつぎ込みよくおこつた炭火をたくさん入れて其の湯の中で、じゆ〳〵と消します、其のまゝしばらくおいて湯のさめた頃中の湯や炭をすて、風あたりのよい、きれいな土間へそつくり丼鉢を伏せておき、しばらくたつてから、入用なだけ小口から出して、もう一度、板の上でねつてから用ひます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

工場處女會春期總會

――日本ではじめての工女さんのお芝居――

神奈川縣程ヶ谷在の富士瓦斯保土ヶ谷工場では、去る五月二十七日處女會規約に基づきまして春の總會を開きました、中央部からは、天野田所兩理事と、本會評議員女子高等師範學校教授の大江すみ子女史と三人參りました。

會は午前九時に始まりまして、開會の辭、君ヶ代、勅語奉讀、來賓演說と順次に進みまして會員の五分談話となりました。

一番最初にお話ししましたのは秋田縣出身の兒玉ミノルさん（十九歲）で婦人の心がけと題して

私たちは、心を清く美しくすることが第一と思ひます。姿は飾ればどうにもなりますが、かんじんの心が修らず、さゝのはなかつたらば、うはべばかり飾つても尊くないと思ひます。

といふお話には一同感じました。次に演壇に上りましたのは秋田出身の今田カツ子さん（十七歲）で「人のねうち」といふ題で

金魚は美しうございます、孔雀も美しうございます、鶯はよい聲してなきます、然し其は只人に飼はれ、もてはやされるだけではありませんか、これからの女も只美しい、きれいだといつて男に可愛がられるだけではいけません。しつかりとした心と淸い精神を以て世に立ち男子と力を合せてゆかればなりません。

言語もハツキリと態度も立派でした。次は新潟出身の小日向カツヱさん（十六歲）で「時は金なり」といふ題で、

青年重ねて來らず、一日再び晨なりがたし、時に及んで將に勉勵すべし、歲月は人を待たず、皆さんこの詩を何んさか味いなさいますか、尊むべきは時であります。私共は、今はうら若い娘でございま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

すが、うかくしてゐますと、とりかへしのつかぬことになります若き時よく務めよく働き、老ひて悔のないやうにしなければなりません。

十六歳と思へぬほどの立派なお話しでした。次は宮城縣の佐藤ヒデ子さん（十七歳）で「心の美人」と題して

女は優しくなければなりません、どんなに姿が美しくとも、愛嬌がなく、氣が荒々しい女は、眞の美人とは云はれません。常にニコ〳〵と優しい心持を以て、親を敬ひ、夫に仕へ、子を愛してこそ女たるの道を盡くしたと言はれます。私共は強く優しくまじめに働くよい乙女となりませう。

大勢のお客さまも、心から感心されました。尚希望者が大勢ございましたが、時間がありませんので、次の會にゆづりました。其から高橋ヒサ子さん（十六歳）金子アイ子さん（十五歳）佐藤ケサノ子さん（十七歳）三人の唱歌の獨吟がございました。

□

其から中央部の天野理事は簡單にお喜びの挨拶をなされ大江すみ子女史を御紹介なされました。大江先生は『誠心を以て働け』といふやうな題で、一時間半に渉つて有益なお話しをなされ、一同に深い感動を與へて下すつた。

お午過ぎは、呼びものになつてゐる會員の歌劇があるので、會場は人の山、わざ〳〵東京から博文館の寫眞部の方も來ますし、東京の新聞記者も大勢見物に參りました。工女さんの歌劇、是こそ日本はじめてゞす親孝行の爲に故里を遠く離れて出稼ぎしてゐられる感心な工女さんのお芝居！ ほんとうに天下に誇つてよいことゝ思ひます。その前にお伽噺で名高い松美佐雄さんのお話しがありまして、いよ〳〵お芝居の幕が上つたのが二時でした。題は『月の世界から』で二幕であります。筋は名高い小林文學士が作られたのです。人は誰でも働かねばならぬ、其が神への御奉公で、人の務めです。自分のめい〳〵の仕事を大事に務めねばなりません。といふことを月の世界と下界とにからませたもので、役者はみな工女さんで、月姫や、星の子や、兎やほんとうに上出來で、帝國劇場へ出してもはづかしくないやうに思ひました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

処女歌劇

月の世界から（上）

文學士　小林愛雄作

◎登場人物

月　姫
星の精（六人）（數は増減随意）
星の子（一人）
兎　（二人）
世話係（二人）
女工手（十人）（數は増減随意）

第一場　月の國

（雲の上に星のきらめく天上月世界の景、こゝに星は居並んで次の歌をうたふ）

■うた

第一。星の歌

（一）
夕空晴れて星輝やく、
浮世を遠き月のみ國、
今宵はうれし雲もなく、
わが世の幸のつきせぬ身よ。

（二）
夕空晴れて星輝やく、
憂ひを知らぬ月のみ國、
今宵はたのし塵もなく、
わが世の幸のつきせぬ身よ。

□ことば

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

第一の星。　私達が斯うしてゐますと、下界の人はどんなに喜ぶでせう。

第二の星。　砂漠に迷ふラクダも、森にはぐれた旅人も、荒海に出た船乗りも、私達の光を仰いで、ゆくての道を定めるのでせうねえ。

第三の星。　私達は只此處に生きてゐるといふだけで大勢の人間を救ふことが出來ますの。

第四の星。　それにしても、今日はどうして月姫がゐらつしやらないのでせう！、いつも日が暮れると、星の座近く、あの美しい姿をお見せ遊ばすのに。

第五の星。　もしや此頃はやる流行感冒にでも懸られたのではありますまいか。

第六の星。　さう云へば、昨日から、月姫には何やら御心配の御様子が見えました。本當に氣に懸ることで御座います。(ピヤノの音がする)

第一の星。　あれ、ごらん遊ばせ。又一つ星が下界へ落ちて參ります。どうして近頃は、私達の世界から下界へ落ちて行く者の多いのでせう。

第二の星。　私達は、心を堅固に持たねばなりませぬ。下界へ落ちたら最後、光も艶もない土の塊となつてしまひますもの。

(折から星の子登場)

星の子。　申しあげます、月姫がお見えになりました

これより以後星の子は星と一緒にゐて共同の動作をする。

星一同。　まあよかつたことと！

(喜びあふところへ、月姫は二人の侍女(兎二匹)に導かれて登場

(星一同敬禮して月姫を迎へる)

うた

第二。　月姫の歌

月姫。　(獨唱)

(一)　雲の上にも憂ひ湧きて
夜な〳〵胸のいたむこのごろ！
月のみ國をいでたち行かば、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あはれこゝろ晴れてもゆくか、
心すずしく晴れてもゆくか、
（同じ調子にてこの歌を兎と月と三人にてうたふ）

（二）月のみ國も春はあれど、
さくらは咲かずいばらも香はず、
月のみ國をいでたち行かば、
あはれこゝろ晴れてもゆくか。
心すゞしく晴れてもゆくか、

□こ と ば

第一の星。どうなされましたか。
第二の星。今宵はなぜそのやうな悲しい歌をお歌ひになりますか。
第三の星。ちと御心を晴れ〴〵となさいまし。
第四の星。其とも何か御胸になやみでもございますか、月姫さまよ。
月姫。靜かにおし！ お前達は月のみ國の春に醉つてゐるのだね。私はいつでも醉ふといふことがない。今しがたも星が又一つ下界へ落ちて行つたあの星は下界へ行つて、どんなに樂しんでゐるだらう！ 下界のさくら咲く國には、もう花が霞のやうにたなびいてゐるのだらうに！
兎（甲）。私も下界へ飛んで行きたくなりました、
兎（乙）。もし、下界へつれて行つては、下さいませんか。
第五の星。飛んでもないこと、おまへは浦島の話を知つてゐように。
第六の星。常夏の國を出て住の江の浦に歸つた浦島は、見る〳〵年寄りとなりましたよ。
第一の星。もうそのやうな考へをやめて、今宵も皆さんと踊らうではありませぬか。
第二の星。さうして下界の人達へ、美しい光を投げてやりませう。
一同。さうしませう〳〵。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

うた

第三。　夜の光

一同合唱

空の輝やく夜は、トト………

静かな木かげに、トト………

兎はもちをつき、トト………

光を下界に、トト………

投げる月の國。

（この間星一同は踊り、月姫も舞ふ、時にかくし持つた、銀紙の紙片を見物の方へまく。）

□ことば

月姫。あゝ何といふ單調な生活だらう。何といふなさけない運命だらう。どうにかしてこの單調を破らなければならない、この運命を開かなければならない。

第一の星。私は今の生活を此上ない樂しいものと存じてをります。

第二の星。私もかうして不自由なく働いてゐることをうれしいことゝ思つてゐます。

第三の星。今の境遇がつまらないと思つて、變へて見たところで、大して面白い生活を得られるものではございませぬ。

第四の星。それどころか、迷つて、變つて、動けば動くほど、不仕合はせばかり來るものです。

第五の星。今の生活を樂と思ひ、苦と思ふのも、心の持ち方一つで御座いませう、物の見よう一つでございませう。

第六の星。私達の考は「心の家」といふ歌に現はれて居ります。

月姫。その歌をうたつてごらん。

星一同。かしこまりました。

（と次の歌になる。次の歌は月姫も星と一緒にうたふ。）

うた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

第四。　心の家

（一）貧しきやどもわが家と
思へばたのし心の宿。
のどかなりや春の宵、
月はあるじ星は友、
おおわがやどよ、
心ゆくわがすまひ！

（二）歌にいふ『わがものと、
思へばかろし傘の雪』
きよらかなりや夜の空、
照るは光、風もなし、
おお、わがやどよ、
心ゆくわが世界。

□ことば

月姫。もう、さういふ歌はよしてお呉れ、聞けはきくほど、氣が滅入つてしまふ。あゝ、慕はしいのは下界、さくらさく大和の國！

第一の星。まあ、何と仰しやいます。戸外に出ようとすれは電車はどれもこれも滿員か故障車で、容易に乘れもせず、家にねようとすれは、蚊がさします蚤もさします大和の國へなど行らつしやるものでは御座いませぬ。

第二の星。そんなところで、滅多に月姫さまがいらつしやるとどなんぎにお逢ひになりますよ。

月姫。いゝえ、その滿員の電車のつり革にせひ、ブラ下つて見たいの。さういふ暮らしにくい渦卷の中に飛び込んでみたいの。

第三の星。では、これほどお止め申しても？

月姫。どうあつても、下界へ行きます。

兎(甲)　私はつれて行つて下さるの？

月姫。おまへなんて行かうものなら、忽ち自動車にひかれてしまふからおよし、おとなしく待つておいで！

兎(乙)　私は？

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

月姫。おまへだつて下界へ行くと、直ぐこわい叔父さんが捕まへて、動物園の金網の中へ入れてしまふから、い丶子だから待つておいで！

兎（甲、乙）それではおとなしくして、待つてゐますから、おみやげを、買つて來て下さい。

月姫。では皆さん、お別れをしませう。

■うた

第五。　別れの歌

月姫。（獨唱）

わが月のみ國に、
今は別れ行く、
わが星のみ子達と、
今は別れ行く、
ゆかりある御國を、
別れゆくときに、
わが魂はげに名殘を惜しまぬ。

星。（合唱）（ハンケチをふりつ丶）

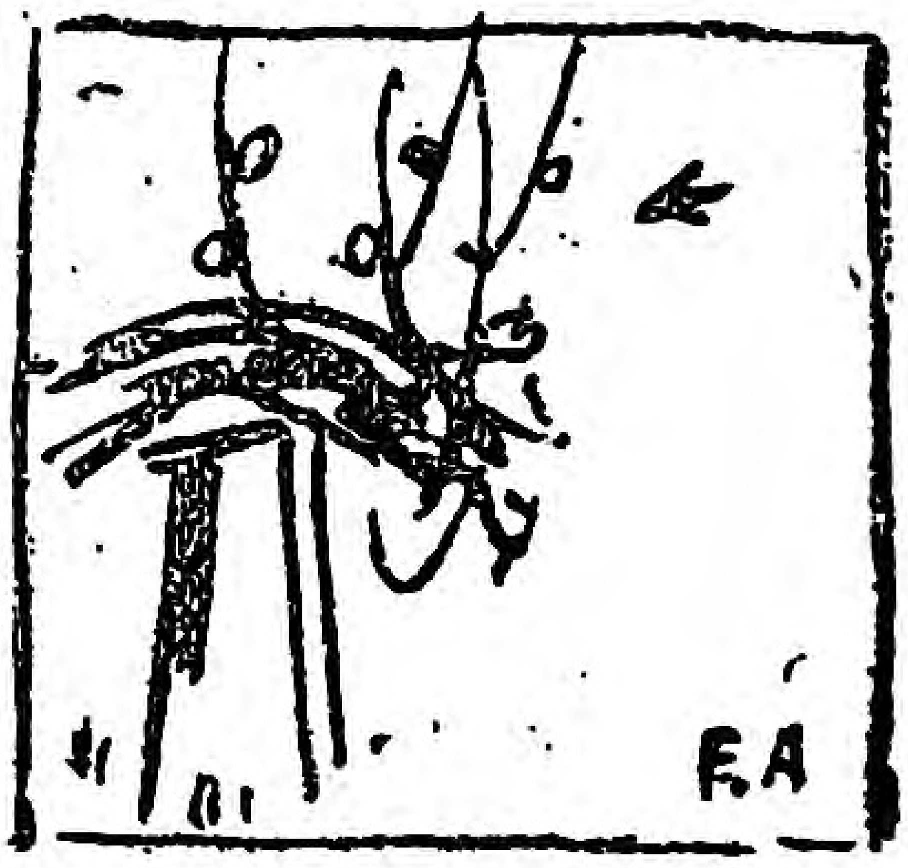
わが姫よ、月の姫よ、わが姫よ、月の姫よ、わが
姫よ、月の姫よ、いまは名殘、あ丶、別れ行くよ。

—（幕）—

月姫になつた心持　横山　はつ（十七才）

（前を略します）恐ろしいやうな嬉しいやうな上演の日が來ました、早くからお風呂に入つて會場へゆきました私の番が來たときには、何だかもう色々の感情が胸の中でゴッチャになつて只見物なさる皆さまの顔が白くぼんやり見えるばかりで、夢中で歌を歌ひました、聲も手もむやみにふるへたとでせうけれど一遍唄ひ終ると急に明るくなつたやうに氣がせい／＼致しました、前の人のお顔もはつきりわかつて來ました、いくらか大膽になつて落ちついたのでせう。終るとホッとして急に身が輕くなつたやうな心地が致しました。上演の日まで不安であつたこの歌劇も他の皆々樣の懸命と、さうして努力とに依つて失敗勝の私の役も滿足にやつてのけたことは心から感謝してをります。この後私は工場處女會の一員として、立派な處女となりませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



都にあこがれて（其十）

白雲生作

□

お君はお房の手あつい看護と、父親の見えたので、病氣も心配もすつかり直つてなつかしい故里へ歸りました。あとに殘つたお房はどうなることでせう。

× × × ×

お房の故里では、お房の家出が大評判となつて、兩親始め家族のおどろきと心配は申すに及ばず、親戚の誰彼れ、村の誰彼れ、わが事の樣に心配して、每日每日入れ代り〳〵見舞の人や、あちこち心あたりを捜す人で、家の中は混雜致しました。

狹い田舍のことゝて噂は噂を生み、二三日前町で若い男と一所に歩るいてゐた所をみたといふものもあれば、いや駈落ちにちがひないといふ人もあります『いやお房さんに限つてそんなことはない、あの娘に限つて』と打ち消したのは、お房の日頃をよく知つてゐる新田の作兵衛爺でした。『いや人はみかけによらぬものでな、鳴かぬ猫が鼠をとるとか云ひやすものハヽヽ』といつていやな笑ひ聲を立てたのは、日頃村から嫌はれもので、しかも世話好きの太平爺でした。

『あの天狗がさらつていつたのぢやござんすまいね、神かくしといふこともござんすから』村で物知りのおみね媼はこういつて膝をのし出しました。『なンのお媼さんけふびソンなことはあるものかね』青年會長の太田君は、こう申しました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

勿論若しやと思つて鐵道線路の附近を捜したり、古井戸なんかをも見廻りましたが、なんのこともありません。母親は寢物語に、父親と泣き明かしました。嫂は申し譯がない、私がわるかつた、面目がないといつて愼んでゐます。全くお房の家出の動機には、嫂との不和もあつたのです。世間でも、嫂のことを何や彼やと申します。兄は兄で『困つた奴め、こんな世間さんへ心配をかけて、もう家へ歸つても寄せつけねえ』と申しますが、其はうはべのことで、流石に兄妹です。心の中では……。

□

別してお袋は心配してこの二三日はごはんも碌々胸にとうりません。近所の人は『お房さんよりお袋さんが氣の毒でならねえ』と噂する位です。一日お袋さんは、近所の人にすゝめられて、不思議によく當るといふ賣卜者の所へ參つて、お房の身の上をみて貰ひますと、

『心配なさるな、娘御は丈夫でゐます、然し隨分苦勞なすつて、危うい目に會つて一時は實に崖の一本橋を渡る樣だつた。けれども落ちついてゐます。此方から百里、遠い〳〵所にゐます。誰か救ひに來てくれるのを待つといふ形ですな。自分には歸れない、人を待つといふ形です。けれどまあ安心なさい。』

と言はれて、お袋さん、涙を出して喜び、ほんまに有りがたいことだ、是も日頃信心してゐる佛樣のお利益と、易者を拜まんばかりにお禮を述べました。

『そうしてその遠方と申しますのは、どこでやせう』

この問ひに、卜者も思はず苦笑ひしました。けれどお袋さんはまじめです。

『此處から東に當ります。ゐる所の方角は……』

易者は眼鏡の上からこの正直なお媼さんを見卸ろして巽の方とか、何んとかしきりに説明してゐました。

『やれ〳〵生きてゐる、そくさいでゐるとは勿體ない〳〵早くみんなに知らせるだあ』

お袋さんは開き直つて一同にこの事を報告致しますと、皆も安心致しました。『矢つ張家出ですな、東京あ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

たりへいつたのぢやござんすまいか』『ウム、あの前夜都の話しを聞かされて大分考へ込んでゐたらしかつた』と兄は合槌を打ちました。『東京といつても廣いですからな、何しろ二百萬人もゐますからな』
『ひとつ村長さんにお願ひして、捜して貰ひますべいか』
『村長さんだつてしかたがあるめい』
『さて困りましたな』
　嫂は臺所の方でごはんの支度をしてゐましたが、
『さあ皆さみ何んにもありませんが、ひとつあがつて下さい、徳次郎さん、御一同さんあがつて下さい。』

□

　お房が家出しましてから十二日目になります、父親の太平はけふは氣分もよいといふので、久しぶりで鍬を舁いで山に出かけました。何かしらひとり言をいひながら往來を歩るいてゆきますと、後ろからプツプツと人力車の合圖が致します。振返ると村の校長さんです。太平は、近くのを待つてていねいに挨拶を致まして
『校長さんどこへ御出かけでございます』
『私し東京へいきます、學事視察で……ソウ〱まだお房さんわからないさうですね、困りましたね、心當りは全くないですか』
　車屋は轅棒とめて、額の汗をふいてゐます。
『ありがたうございます、旦那方に御心配かけて相すみません、どうも一向にわかりやせん、何でも遠方に落ち着いてゐるとトひに出ましたが、一向雲をつかむやうな話でほんとうに困りました。旦那東京へゐらつしやつたならば、若しお心當りがございましたらよろしうひとつお願ひ致します。』
　太平は腰を弓掛月の樣に曲げて頼み入つてゐます。校長は笑ひながら
『東京といつても廣いからね、さあ見當がつかないがね、けれど心當りは捜しますとも。爺さんあんまり心配しちやいけないよ、何でもこういふことは、約束ごとだからね、ぢやごめんなさいよ』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

時間も迫つてゐますので校長は別れを告げて、車を急がせました、太平は車を見送つて、
『校長さんが娘をみつけてきつと歸つて下さるウム』
とひとりうなづきましたが、二百萬人もゐる東京だと考へますと、矢つ張不安が胸に一杯となります。その中人力車の影は消えてしまひました。太平はひとり田圃道をポツ〳〵あるいてゆきます。
向ひの森から烏が一群れ、カア〳〵と鳴いて西の方へ飛び立ちます。
太平はヂッと其の行衛を見守つて何かしら考へ込んでゐます。

□山本久榮女史の篤志

東京赤坂見付外に清洒な白煉瓦の建物がありますそれは山本久榮といふ婦人が經營して居られる美粧倶樂部で全國に數個所の支部を設け年々盛大に赴いて居りますが其の山本女史は處女會中央部の趣旨に贊成して本年三月から毎月金參拾圓を寄附して下さいます女史の過去には男も及ばぬ奮鬪の歴史がありますそれはいづれ折を見て委しく御紹介いたしませう尚女史は米國最近の美容術を研究するため近々渡米されるさうです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

『都にあこがれて』が娘を救ひました

□大阪道頓堀角座の出來事□

『都にあこがれて』は先頃大阪、京都の大きな劇場で特別興行をして大喝采を博して居ります。

二三日前内務省の長谷川書記官が私の所へわざ〳〵來られて『あなたの活動寫眞が一人の娘を救ひましたよ、之をごらんなさい』と言はれますので、よくみますと、大阪慈善新報に次の記事が出てゐました。

都に憧れて上阪した
若き女の悔悟

去る十一日午後八時頃道頓堀角座に於て活動寫眞『都に憧れて』を映寫中、滿員椅子席の中央にて見物せる妙齡の女が、しく〳〵と泣出し、果は聲を立つる樣の不審なるより、座員が一室に招じ、其理由を訊ぬれば、此女は德島縣那賀郡長生村三之助二女とめ(一九)にて、五年前やはり都に憧れて上阪し、爾來諸所徘徊中遂に墮落して今は闇に咲く日蔭の花として、唯其日々々を浮々と過し、美しきものを身に纒ひて、寧ろ得々たるものありしが、評判につれて、昨夜同座の『都に憧れて』を見て、自身の如く都會に憧れたるお房が、幾多の困難を經たるも、堅き意志の爲め、幾多の誘惑を避けて、再び田舍に歸るといふを見、自分の生活の唾棄すべき事に氣付くと同時に忘れ居たる故鄕の兩親を思ひ出し、果ては得堪へず泣き伏したるものと知れ、座員も大いに同情して、婦人ホームに紹介して眞面目なる職業に就かす可く盡力すると同時に、親元の方へ其旨通知したりと言ふが、斯くの如き映畫の感化力の甚だしきに今更驚嘆し居れり。(終)

『都にあこがれて』は大阪神戸あたりで寫してゐるさうですが、あれは直してないわるい方のです、直したよいフキルムがこんど私の手許に參ることになつてゐます。みなさんにお目にかける時がきつときませうと思ひます。(天の)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

全國處女會 婦人會 主婦會 一覽（其七）

鳥取縣（續）

氣高郡

名稱	創設年月	會員數	會　氏名
東郷處女會	四、七	七二	三原庫藏
日置谷村處女會	三、四	六〇	吉田勝治
日置村處女會	三、七	八七	村上友治
大和村處女會	五、二	七五	横山瀧三
賀露村處女會	四、四	一二〇	寺島莊次郎
中郷村處女會	四、五	四四	岩田初次
千代水村處女會	四、六	一〇三	森本正吉
小鷺河村處女會	四、七	七〇	澤山吉郎
大郷村處女會	四、七	八三	山脇光治
勝谷村處女會	五、四	五五	徳田義喜代
吉岡村處女會	五、七	六〇	竹本定次郎
砂見村處女會	不詳	六六	島田隆平
美穂村處女會	不詳	七一	安藤重平
明治村處女會	不詳	六七	吉田伊三郎
豊實村處女會	不詳	六〇	細井義男
松保村處女會	不詳	三八	藤縄愿
湖山村處女會	不詳	六二	田中久秋
末恒村處女會	不詳	七一	上村芳治
寶木村處女會	不詳	八六	大澤治人
瑞穂村處女會	不詳	五七	岡崎龜藏
鹿野村村處女會	不詳	一三一	加藤辰次
正條村處女會	不詳	五三	下田傳平
逢坂村處女會	不詳	九八	中原六太郎

青谷町處女會	不詳	一〇一	恩田平藏
勝部村處女會	不詳	一六五	木下好雄
神戸村岩坪處女會	不詳	三〇	吉野吉丸
明治村大正處女會	不詳	五六	小原光藏

島根縣

邇摩郡

水上村處女會	二、九	八一	吉田信夫
汲積村處女會	四、三	二八八	岩谷勘助
福浦村處女會	七、一	三八	織田ウメ
福光村處女會	六、四	三五	坂根清一
大濱村小濱處女會	二、一	三〇	寺本千代乃
大濱村上村處女會	六、九	四〇	石田春信
溫泉津町處女會	六、六	九五	齊瀧晋若
宇野村處女會	二、八	四〇	藤間カノ
馬路村處女會	七、四	八〇	山下克巳
久利村處女會	七、七	四〇	原喜太郎
出西村處女會	六、八	五四	岡田チカ
伊岐野村婦人會	二、七	五七〇	松原ヨネ
出東村南部處女會	四四、七	五三	矢野信一郎
出東村北部處女會	四三、一二	一三〇	勝部正一
漢分村處女會	四四、八	一三四	長岡豊樹
國富村自治會處女會	四四、一〇	一九六	水吉秋野
鰐溪村三大字處女會	四三、九	三三	關ミツ
同村猪目處女會	四四、二	二四	青木暢茂
西田村處女會	四三、八	三六〇	來海喜繁
北濱村處女會	四五、三	一二五	渡部マス

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

簸川郡

佐香村婦人會	四四、三	一六〇	缺員
東村處女會	三、八	一〇一	梶谷 靜能
乙立村東部處女會	四一、四	四一	板垣 キミ
千鳥會	四三、一	二四	岩崎 萩代
上津村處女會	五一、一	六五	佐々 岸枝
川跡村處女會	四三、一二	一〇三	南場 ヨシ
荒木村處女會	三一、〇一	二〇〇	矢田 春乃
高松村第二種婦人會	四四、三	一五〇	矢田 博藏
久村處女會	三、七	四五	氏田 續
川東婦女會	四五、四	二七五	缺員
川西婦女會	四五、四	三八三	缺員
高濱村處女會	四五、三	一二〇	松浦 守衛
杵築村婦女會	六、一〇	一〇〇	欠員
朝山村處女會	二、二	一一三	白石 ヨシ
古志村婦女會	二、一〇	三三〇	石橋 モト
日御崎村處女會	四三、一二	二四	永見 堅市
大野村彰德處女會	六、一一	一二〇	竹内 秀光
稗原村處女會	五、三	八〇	一間 春野
四絡村女子會	五、九	一二〇	磯田 權三郎

那賀郡

濱田佛敎處女會	五、三	二〇〇	嶋谷 ユキエ
上府伊甘處女會	五、二	四〇〇	野津 象二郎
川波村敬川處女會	二、九	五〇	岡村 宜之
二宮村處女會	四、二	五六	森田 武夫
都濃村女子卒業生會	三五、二	一〇七	天野 壽之助
渡津村處女會	四、二	五二	安田 モン
松山村處女會	六、九	二一	西谷 玉市
有福村宇野處女會	六、二	三六	尾崎 カタ
伊南村宇津井處女會	五、八	一五	岡田 ユウ
伊南村佐野處女會	五、五	二九	缺員
美又村今福處女會	二、六	二八	中村 精美
又村女子卒業生會	二、五	五二	嘉戸 一郎
和田村積德處女會	六、一	二六	缺員
都川村都川處女會	七、二	三八	山口 甚造
三保村西河内處女會	四、〇	八〇	齋藤 トモ
三陽村處女會	三、八	五〇	齋藤 武雄
蔭谷村松操會	四五、一	二四	佐々木 康介
大麻村東處女會	五一、二	一九	長見 辨一
大内村處女會	三、二	八七	朝田 周市
周布村處女會	七、七	一一六	ナシ
長濱村處女會	四、二	四〇	岩本 初代

隱岐島廳

中村處女會	元、六	二二	森 ひでの
南方處女會	五、	一七	藤田 カノエ
北方處女會	元、	二一	黑見 ヒサエ
海士尋常高等小學校下女子會	四、一	五〇	藤野 ヨシ
布施尋常高等小學校下女子會	四、一	二八	小濱 彌重
菱浦少女會	三、二	二五	ナシ
福井處女會	三、六	二七	由邑 芳若
西處女會	三九、一一	一八	池田 秀一
須賀處女會	三九、一二	一五	宮岡 福大郎
崎女子會	四一、四	四五	播摩 イト
古海處女會	四、一	四〇	仲濱 カナ

○新設處女會について

新たに處女會が出來ました地方の狀況を知らせて下さい。名簿を訂正致したうございます、會長さんの變つた場合にも知らせて下さい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

時間を大事にし、よく守れ

□時はソンナに大事でない?

日本人は時間についての考が乏しく、約束の時間を守らぬといふ評判です。外國人から見れは、たしかにさうかも知れませぬ。是は日本人の生活が、わるく言へば、だらしがなく、よく言へば、極く呑氣で、泰平で、時間なんかそんなに大事にしなくても、よかつたことにも因りませう。『時は金なり』といふ諺もありますが、日本人には、時はそんなにねうちのあるものとは思はれなかつたのであります。殊に農業をしてゐます人は、自然を相手に、極く氣樂に暮らしてゐたので、一時間二時間の時間は、後れても、早くつても頓着なかつたのです。『今晩寄り合がありますから御出で下さい』といつてフレを出しますが、さて今晩とは、六時も今晩だし、七時も今晩だし、八時も今晩です。尤も今まで時計もあまり持ち合せませんでしたから是は無理はありません。山中暦日なしといふて、よく山村の平和な有様を形容致します。

□時の展覧會

然し世の中が進むに從つてだん〳〵生活が規則正しくなり、人の寄り合も多くなつて來ました。人のする仕事も殖えて來ました。仍で『時は金なり』といふことが大分わかつて來ました。約束の時間をたがへることは、忙しい大勢の人に迷惑をかけるよくないことであるといふ考もだん〳〵わかつて來ました。田舍にも青年會處女會が出來ました。是はお爺さんお婆さんの觀音講や、十三夜まちの寄合とちがつて、修養の會合であるから、世間ばなしをして、いつまでも開會をまつてゐることは、非常に損であるといふことにお互が心づくようになりました。

此に於てか、文部省は、一層この『時』の大事であるといふ考へを普及させます爲に、五月十五日から六月一杯、時間に因むいろ〳〵の材料を集めた『時』の展覧

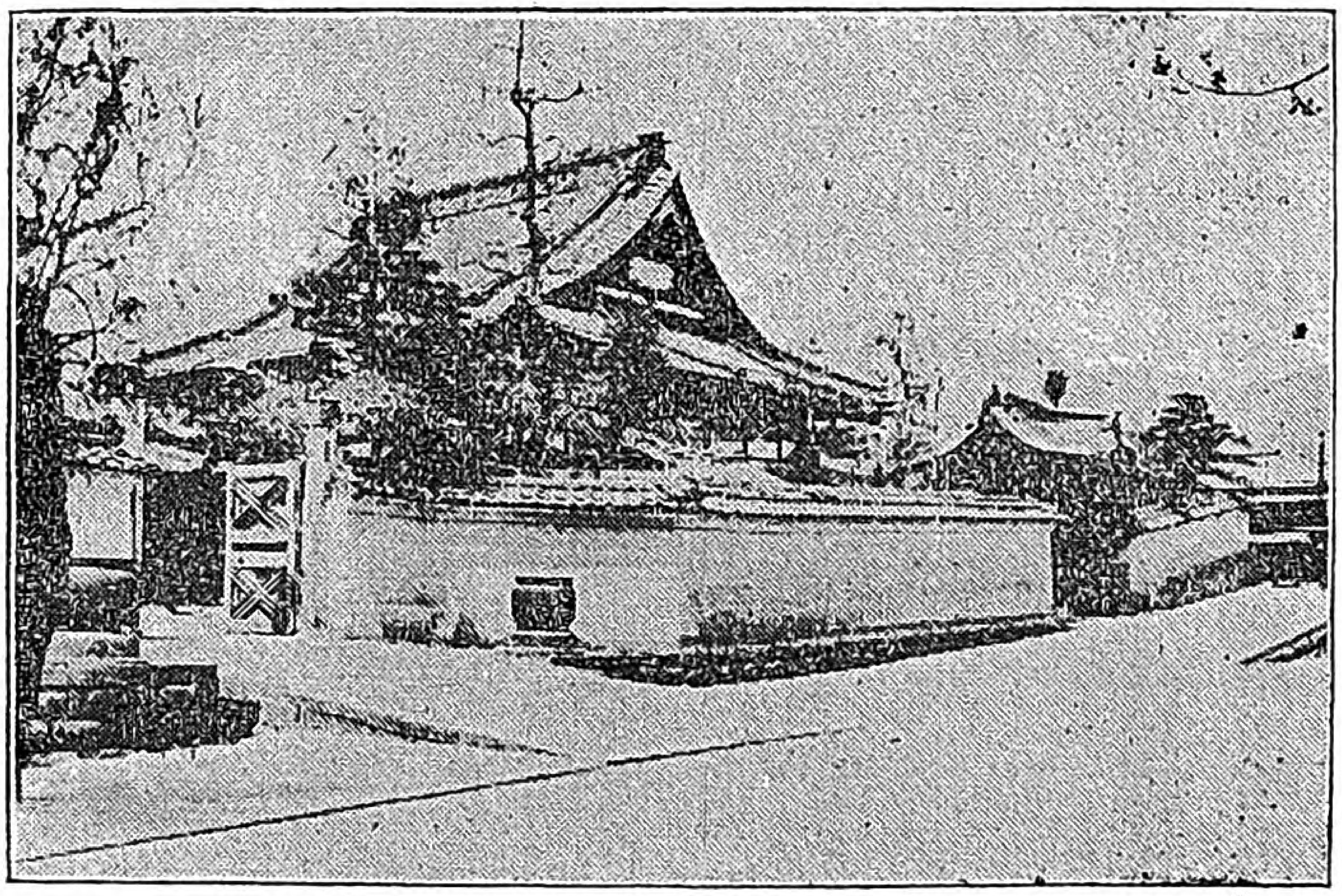
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

會を、お茶の水の教育博物館で開くことになりました

□日本で時計のはじまり

展覧會では、日本で一はん古い時計をはじめとして暦や、時を告げる太鼓、鐘の類、さては訪問時限のきめや、時間を守らぬ爲に人の迷惑をしてゐる畫や、午や馬や龜の子の年や、英雄や豪傑が大事業をした年齢など、時、年、時間に縁あるものは、一切出てゐます

日本で一はん早く時を圖りましたのは、天智天皇の御時で、今から二千五十年前です。その時のみ計は水時計で、段々の箱が出來てゐて、その水が下の箱へ移つてゆくのを見て、時の移るを圖るのです、是から砂時計となり、だんだん進歩して今日の時計となりました。その水時計の圖も出てゐました。



善光寺大本願（房子寄）

□女學生のビラまき

是より先き、東京には、生活改善同鳴會といふのがあつて、その規約の中に『時間を正しく守れ』といふ一項があります。こんどの展覧會にも同鳴會は文部省を援助しまして、いろ〳〵材料を集めたり、宣傳をしたりしました。

六月十日は、天智天皇が始めて水時計を用ゐられた日に當りますので、この日を『時の記念日』と定めて、この日は正午を期し、各寺院、工場では、鐘を打ち、笛を鳴らすようと申し合せました。博物館には、三上博士の講演がございます。

この『時の記念日』を市民に知らせます爲で、六月九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

日市内の女學校の生徒は、日比谷とか、九段とか、銀座とか、方々に出張して、次のビラまきを致しました。

○時の記念日

この六月十日は、千二百五十年前畏くも　天智天皇が漏刻(水時計)を用ゐ給ひて報時の事を行はせられました日に當ります。我等は斯樣な由緒ある日を記念に將來一層時間を尊重し定時を勵行致したいと思ひます

◎執務の時間

一　出勤及退出の時間を勵行すること。
一　勤務と休養の時を區別し時間を空費せぬこと。
一　取引約束の期日を違へぬこと。

◎集會の時間

一　集會の時日は多數者の都合を考へて定めること
一　開會の時刻は掛値をせぬこと。
一　集會の時刻に遲れぬこと。

◎訪問の時間

一　先方の迷惑する時間の訪問を愼むこと。
一　訪問は豫め時間を打合せること。
一　簡單な用談は玄關店頭で濟ますこと。
一　面會は用談から先きにして早く切り上げること
一　來客は待たせぬこと。

◎正確な時間

時間の勵行には正確な時計が第一に必要であります正確な時間に合せるには午砲の外は、最寄りの電信局及び停車場に行くがよろしい。午砲は約三町毎に一秒後れて聞えますからそれだけ差引く必要があります。

□處女會の開會を正しく

田舍と町とは、大分ちがひます、殊に皆樣は役所や會社へはお務めをしてゐないので、あてはまらぬところもあります、又訪問や面會も、この通りにはゆきますまいが、兎に角時間を大事にすること、約束の時間を守ることは、どこへいつても必要のことであります處女會の開會が後れたりすることは、先づ第一に改めねはなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

少女のお手本

處女が荒馬を自由に!!

五十嵐みな子さんは、福島縣耶麻郡千里村に生れ、ことし十七歳、昨年猪苗代の小學校の高等科を卒業しましたが、在學中はいつも成績が優等で學校から御褒美をいたゞきました事が度々ございます。卒業後は補習科に入り專心普通科のおさらひと、裁縫のおけいこにつとめて居りますが、その爲に勞務を厭ふようなことは少しもなく、鍬鎌にしたしんで居ります。本年五月一日に耶麻郡の農會で第一回の馬耕競犁會を催しました時、みな子は二人のお友達と共に、競技場に入りまして見事に荒馬を使いこなして一等賞になりました

青年も舌をまいたと申します。身體は丈夫でございまして、いつの運動會にも賞品を受けます。みな子は村で相當の財産家でしかも長女に生れました。なみ〳〵の娘ならば、着物よ、髪飾りよと氣をもみ、お化粧に浮き身をやつす年頃ですのに、まじめによく働きますことは、まことに少女のお手本です。『強く優しくまじめに働く』處女の模範としてあまねく全國の誌友に御披露致します。

□處女美談をつのる□

處女會員は固より、一般の婦人、女中さん、子守さん、乳母、などすぐれた行ひのある方々の寫眞と記事とをつのります。年齡をも記るして下さい。本誌に掲げまして修養のお手本と致します。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女歌壇

廣島　沖元　艶子

妾しや幸ある田舎の娘、暑い夕べも冷めたい朝も、脚袢手負に身をひきしめて、秋の實入りをたのしみます る。

福島　阿部きく子

山畑に桑つむ乙女の歌聞え
まひにしづかに風そよろ吹く

宮城　男澤ともよ

雨はれて月出でにけり松が枝を
洩る影白く青葉あかるし

滋賀　中川とら子

わが村は四方小山にかこまれて
風あたゝかに早苗のびたり

愛媛　橋本　澤代

入相のかねをきゝつゝうちつれて
家路につく頃月はのぼりぬ

無　名　女

ねもやらず歌唄ひつゝ桑つくる
是もお國の爲と思へば

宮城　牟岐あい子

夏草の繁りに淡き夕月夜
わかれし友のそゞろ戀しき

福島　菊　女

ひねもすを野に働きて歸り來れば
姉さん雜誌と妹はかけ來る

神奈川　山下ゑみ子

夕風に頬なでながらざるさげて
さや豆もぎつゝ『野の幸』うたふ

鶴野しゑ子

緑り濃き葉櫻の村に名も知らぬ
小鳥來て鳴く初夏の朝

岐阜　竹腰よさ枝

爽やかに初夏の風そよふけば
百合はやさしくおぢぎするなり

宮城　牟岐あい子

暖かき椽にて母の髪すけば
白髪の見えていと悲しけり

香川　岩井つや子

ほろ〱とひもゝの花のこぼれおちて
ゆく春淋し山かげの家

香川　白百合

若草の萠ゆる木の下蔭のひとつ家に
煙ほの〲朝ぼらけかな

宮城　二階堂たかを

葉櫻のしげみの間よりほの見ゆる
夕べの月のなつかしきかな

俳句　　田舍の乙女

樂しさや蝶の出て舞ふ青田かな

愛媛　橋本　澤代

蛙鳴き螢とび交ふ昨日今日かな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女文藝募集

第一種

作文（田舎の友へ 町の友へ 工場の友へ）
和歌（題随意一人三首）
俳句（題随意一人三句）
考へ物（下の題を見よ）
習字（半紙一枚六字）

第二種

處女會の寫眞
田園生活の感想
有利なる副業内職
地方篤志婦人の事蹟
田舎より見たる都會

第三種

處女倶樂部（はがき一人一通）
衛生問答（一人一問）
處世問答（一人一問）

國府理事より

倫敦の國府理事より天野理事にあてたる近信の一部

（中略）倫敦の市中市外、道路といふ道路は、何れも「コンクリート」にて固め、人道に石を敷きたれば、土を踏みたくも、踏み得らるべきにあらず、雨降りたりとて、泥の靴を汚がすなく、其の雨も烈しく降ることなれば、傘を用ふるの必要もなく道路は良く交通機關は地上地下共に四通八達、自由自在なれば何れに往くにも多くの時間を要せず、餘りの便利と開濶な爲、東京へ歸ることを思へば、不快を覺ゆる位に御座候。新聞にても雜誌にても又坊間の話にても人の惡事は一も傳へず、人の善事を競うて報道す、輕快なる服裝して、生氣潑溂たる妙齡の處女、街路を右往左往に靴音立てゝ歩き行く狀愛らしきこと言はん方なし。日本の處女も今少し快活に社交に慣るゝやうありたく思はれ候。（下略）

六月號考物の答

六月號考へ物の題は「柿の木化して女となる何か」これは木へんの代りに女へんとすると姉さいふ字になります澤山のうち厳引で左の人々が當りました

○廣島縣御調郡河田村德永　水野薰
○群馬縣佐波郡采女村百々　岡崎その
○京都府加佐郡河守上村外宮　平野ハヤ
○岐阜縣吉城郡上寶村栃尾　内木松子
○福島縣東白川郡石井村中石井　鈴木カツ
○愛媛縣上浮穴郡小田町村　中野イヨノ
○神奈川縣保土ヶ谷工場六七號　西さつき
○福井縣大飯郡和田村　吹田劍子
○三重縣一志郡八幡村川上　大上光子
○鹿兒島縣薩摩郡里村里　野島くま
○高知縣吾川郡伊野町　岡村くまゐ
○靜岡縣濱名郡中瀨村第二部　鈴木まさの
○東京市本所押上工場内　大泉サダ子
○德島縣勝浦郡福原村　關守クマノ
○福島縣南會津郡大川村内川　菅家きみよ
○秋田縣仙北部豐岡村　高田トミノ
○石川縣鹿島郡德田村　齋藤ミヨノ
○京都府乙訓郡伏見町湍水　吉村ツヤ
○富山縣氷見郡速川村　田中イク代
○愛知縣幡豆郡佐久島村　河野ハル
○島根縣飯石郡佐香村　吉岡ムメ
○東京府下小名木川工場内　若林さも
○岩手縣南津輕郡藤崎村　遠藤たけ
○大阪府泉南郡樽井村　星つる
○和歌山縣日高郡丹生村　吉田操

考へ物新題

○十月十日は毎日あるこ申すが何のことですか

〆切　七月十日

答はハがキに限る。本郷元町二丁目處女の友發行所宛のこさ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

はがきをもつて御來會下さい。長いお話は御免下さい後れた方は次の月

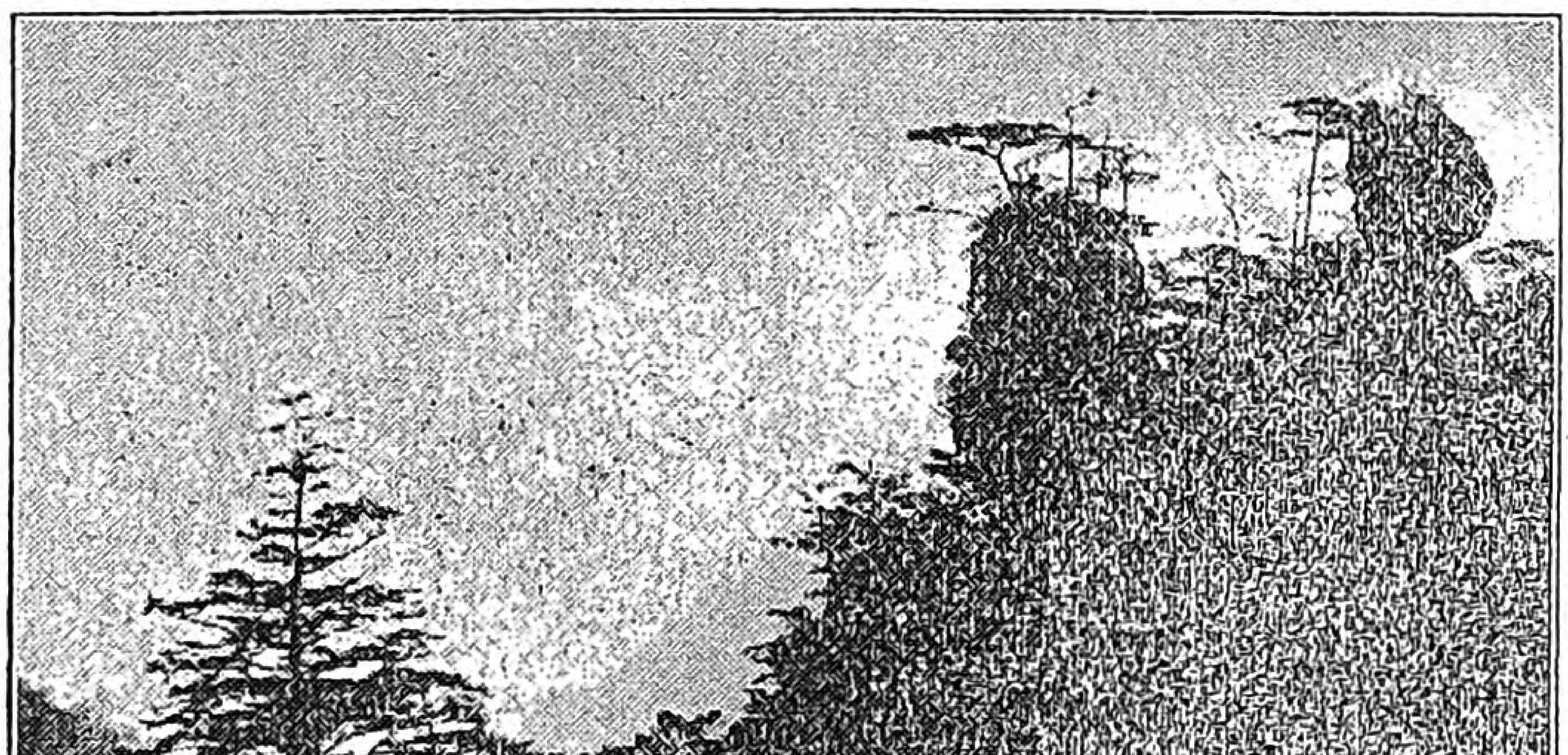
○誌上の談話會お順に自由にお話しなさい。北は北海道から南は九州臺灣まで居ながらお話しが出來る、ほんとうにたのしいことですこと。さあみなさん是から開會致します。後れた方は次の會まで御まち下さい、(記者きみ子)

▽私は片田舍に生れた農家の娘であります。雜誌の中でも處女の友ほど私等にとつて修養になる本はありません。御敎に從ひ「強く優しくまじめに働いて」居ります。(香川縣仲多度郡垂水村瀧口せん子)

▽一目に見える麥畑は暖き春風に吹かれ、小波の如くに見え、小林に囀ろ小鳥の聲など長閑なる春も廻り來ました。なつかしき先生始め誌友の皆樣御變りはございませんか御伺ひ申します。私は有益なる處女の友を愛讀致す樣になつてから毎日疲れし身體を忘れ樂しく暮らしてゐます、(北海道幌內茺木ミサチ)

▽いつしか暑くなりました、私は本年二月からの本誌の愛讀者ですが、記者樣私田舍の乙女でございます。誌友くらぶのお仲入りを(宮城縣本志郡歌津村名足男澤ともよ子)

▽花もちり暑い初夏を迎へました、記者樣御健に御暮らしなされますか



上州妙義山（「山百合」子寄）

私は本年四月から愛讀者となりました、毎號有益な記事ばかりをのせて下さいまして、ほんとうに何とも御禮の申上げやうもございません。私は今まで御誌のあるを知らずにゐたのが何よりも殘念でなりません。今後は御本によりて強く優しくまじめに働く處女となりませう。(長野縣下伊那郡山本村鷗澤みつほ子)

△春と夏とのさかひのなやましい生の苦しみがしみじみと感じられますさびしい今宵――私は机にもたれてうつとりと處女の友の五月號によみ耽つて居ります、共鳴の強いそれでやさしいまじめな御誌を得る事が出來たのを私共田舍乙女はどんなによろこんでゐることでせう。父母もお前にはふさはしい本だといつて共によろこんで下さいます。誌上の皆樣御交り下さいませ(群馬新田郡九合村對北地こう子)

▽青葉がくれにホトトギスの鳴く時節となりました。記者樣始め諸姉樣には御變もございませんか、毎月の處女の友を唯一の友として、強く優しくまじめに働く女とならんことを一日たりとも頭におかぬ日はございません。今月の「乙女のなやみ」號は實によい事ばかり御座いました。私はうれしくも又有りがたく拜見致しました。(秋田市室町笹山せき子)

▽青葉の茂の頃となりました、記者樣はじめ誌友の諸姉樣には御變りはありませんか。私は四國の片田舍にわびしく暮らしてゐる不束な者でございますが、この度處女の友の愛讀者となりましたから、お仲間入させて下さい。(香川縣仲多度郡乘水村渡邊ますゑ子)

▽皆樣ごきげんやう、明日ありと思ふまじと思ひつゝも、今日もあだにすごしてしまひました。是から尊い月日を大切に送りませう。(愛知縣加茂郡古井村田口若子)

▽先日は早速處女の友や新聞を御送り下され、誠に有りがたく御禮申上げます。東西に分れて居りますが心は一つ、みんな喜んで居ります。本月號も早くお送り下さい。(福島双葉郡平陽裁縫女學校)

▽毎日〳〵のふり續きの雨に不平顏にて歸つて來ました。折しも待ちに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

待つてゐた處女の友が來てゐたのが今までつまらぬ顔をしてゐた時と變つて其の時の笑顔手も足もおごらんばかりに喜ばしくなりました。孝行娘の納豆賣、何んといふけなげな快活な孝行娘でせう、年と言へば、僅か十二才位まだ遊び盛りですのに、私はこの娘さんからみれば、年だつてズツト上です。一寸の間も遊んでは居られません。此の娘さんを模範として働きませう(福島縣双葉郡新町笠原ふぢ子)

▽蛙よお蛙よ、お前の聲は何といふなつかしいそして優しい聲でせう、逝く春のあはれをうつたへるのか、それとも來るべき夏の活動を喜んでくれるのか、おゝ蛙よ、お前の啼聲は何んともたとへやうない悲しい音にひゞく。(島根房女)

▽新綠滴るばかりの晩春の候と相成りました。記者樣には、御健やかに御暮らしの御事と存じます。記者樣へは之が初便りです。以後宜しく御導きを。私は有力なる御誌の讀者となつて野の尊いといふことを一層深く心のカメラに燒きつけました。貴會の會訓を守つて立派な人になりたうございます。凡て自然を友とする百姓ほど愉快なることは他に有りますまい。(香川縣三豊郡大野原村藤川さよ子)

▽私は本年の一月より本誌をよみました、いつも〳〵有益の記事のみのせて下すつて有りがたうございます(福島縣猪苗代町中町小坂橋とめ子)

▽私は昨年十一月から此の處女の友を愛讀せる群馬縣の片田舍に住む一處女です、晝は一生懸命に働き、夜はこの處女の友を唯一の友としてゐます。始めより終まで尊いお敎へばかりで、全くうれしう存じます、あゝ「強く優しくまじめに働け」御會訓を守り清き處女になりたいと思ひます。記者樣御身大切に(群馬縣佐波郡三郷村太田柳岡いく子)

▽妾は大沼郡川路處女會幹事です、妾の會は大正八年立太子式記念として創立されました。會長は校長です校長は青年團長をして居られます、殊に今年度は青年團と連絡して敬老會を開くことになつてゐます。又青年團の講習會運動會、月次修養會等には女を招待されます。斯樣に青年團と連絡して川路村は固より一部の惡習を驅逐することに力めてゐます處女の友も愛讀してゐます。全國處女會の發展を心より祈ります。(福島縣大沼郡川路處女會幹事松崎キヨ子)

▽まあお聞き下さい、私は本年の春學校を卒業致します不束者でございます。下手ですけれども投書致しますから惡るい所はお直し下さい。私の住む所は大變風景のよい所でございます、北には磐梯山あり、南には猪苗代湖かあり誠に風景のよい所ですが、一度お出でさい(猪苗代町大竹米子)

◎三四年前私は一人で猪苗代にゐました。湖水のほとりに休んでゐますと、モンペイ袴をはいた娘さんが大勢來ました、その夜何とかいふ宿い泊りました。鯉の御料理か大變をいしかつた。夜浴衣きて散歩しました磐梯山へ登り始めて疲れてよしました。その時分には處女會はなかつたでせう。翌くる日はコヒナダの琴平さまにお詣りして、盆踊りをみました。なつかしうございます。こんどきつと參ります。皆さん歡迎して下さるか(あまの)

▽うぐひす鳴いた春の日も去りいそがはしき五月の節になりました。田植に來て人々と面白く働いて居ります、家に歸つて處女の友に愛され疲れも身も忘れ樂しく月日を送ります(福島縣大沼郡川路村遠藤うしよ子)

▽私は四國の草深い田舍の者ですが本誌の愛讀者となりましたから記者樣はじめ誌友の諸姉樣宜敷御導き下さい(愛媛縣伊豫郡佐禮谷村橋本澤佐子)

▽初夏の氣候となりました、諸先生はじめ誌友の皆々樣には如何にお暮らし遊ばされますか、私は處女の友は毎號拜見してゐますが、お便りは是がはじめてゞございます。どうか之からは暖いお交際を(滋賀縣見村やす子)

▽私は讃岐の片田舍の處女でございます。今年二月より本誌の愛讀者となりました。私は本誌の御好評が何より嬉しうございます。和歌山の矢野綾子樣御たより下さいれ。(香川縣仲多度郡月見草より)

▽花の盛りも過ぎて若葉の頃となりました。記者樣はじめたの讀者の皆樣如何御暮らし遊ばされますか、お伺ひ申上ます。「都にあこがれて」ほんとうに面白くなりました、お君さまの助かつて嬉しく思ひましたのも束の問、お君の病氣、先生どうぞ全快さして上げて下さい。仲多度郡の尾松みすゑ樣同縣でなつかしう存じます(香川縣三豐郡大野原村白百合)

▽かほりゆかしき櫻花もいつしか散り果て、若葉の時節となりました、田所先生此間はわざ〳〵こちらへおいで下され、短い時間に非常に爲になる「強く優しくまじめに働け」の會訓をお話し下さいまして誠に有りがたうございます。私も是から會訓を守り此の後ます〳〵この處女の友の發展を祈りませう(福島縣耶麻郡猪苗代本町八子とし子)

▽私の村にも一昨年から處女會の設立を見ましたが、只々名のみです、實に遺憾にたへません、私も二三人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の人と語らひ、是非盛に行ひたく先頃より心掛てはゐます。こんな片田舎でも覺醒の時代は來るでせうか、いえ／＼きつと來ます。青年會は縣内でも名ある村です。處女會の不振は私等の責任であります。この次には盛況をおしらせ致します（大分白菊女）

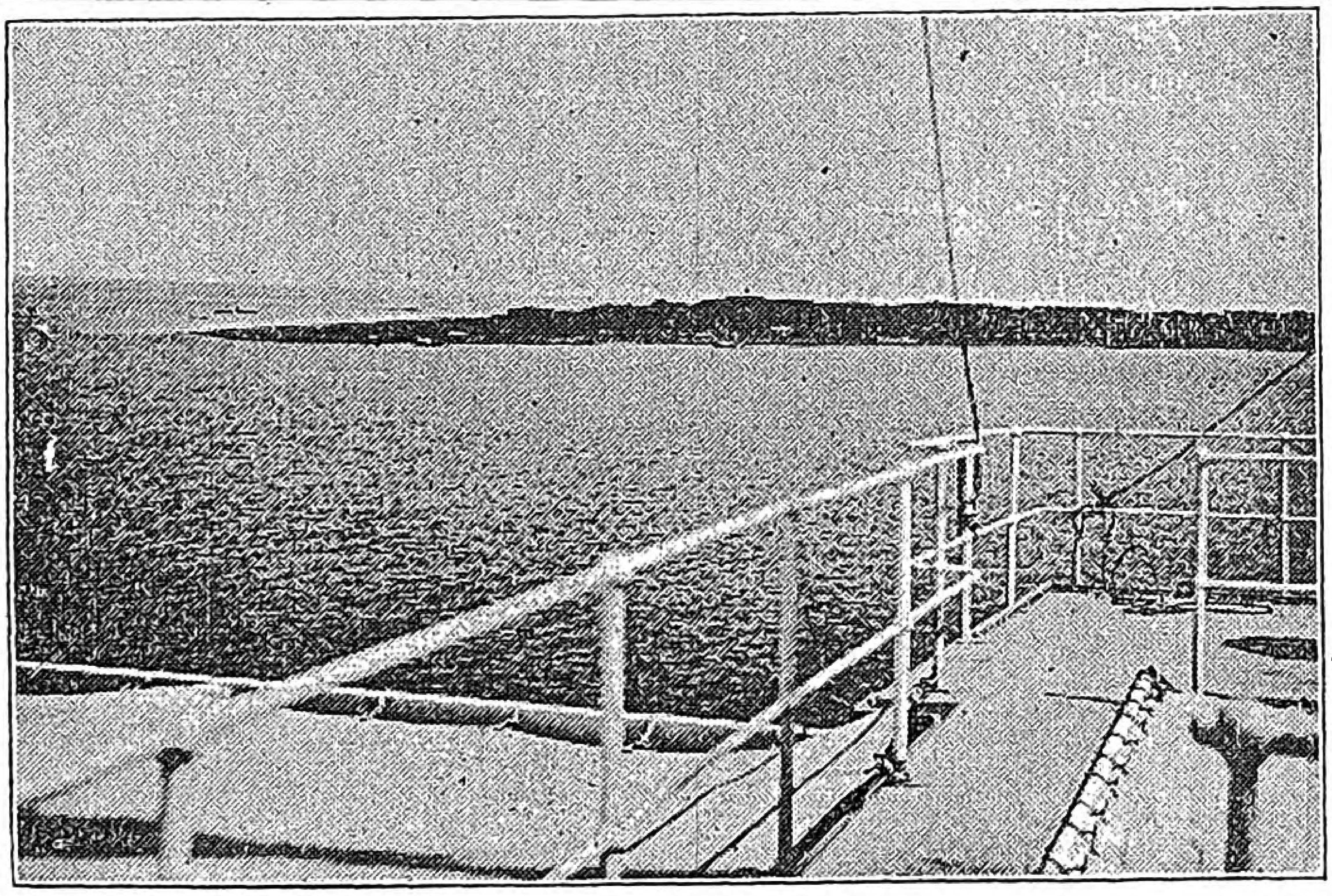
▽私は上州の片田舎に住む乙女でございますが、土沼さんに一月より御誌の御好評をきゝまして私も愛讀者となつたのでございます。先生どうかよろしく御導き下さいませ（福島縣耶麻郡猪苗代礎保村小林春代子）

▽私は田舎娘です。本誌を友となして働いてゐます。（福島縣大沼郡川路村星やすの子）

▽私こそ處女の友の愛讀者となりましたからよろしく皆々樣御交り被下さい（靜岡縣庵原郡庵原村杉山處女會支部長青木あさ子）

▽天野先生お變りはありませんか、春の色は大かた移ろひ、おくれて咲きしつゝじの色などご見捨てがたくなりました。月々賑やかになりまする誌友くらぶ、ほんとうこ嬉しうございます。茶つみしながら皆樣を想像するほど樂しみなことはありません、畠に働く日にはきつとこたのもしき處女の友を持つて居ります。疲れた時には一層嬉しく拜見致します。こんな幸福なことがいつまでつづきませう先生のお教の如く清く正しく希望を持つて働きます。（滋賀中川さら子）

▽誌友の寫眞を借していたゞきたい誌上にのせます。記者はみなさんの樣子を想像しながら本誌をつくります（一記者）



漁船より見たる三保松原（興津田中みどり子寄）

▽一筆申上ます、いよ／＼春の氣候となりました、貴社益々御繁榮の御事とお察し申し上げます。扨毎月考へ物がございますが、飛騨の山奥ですから月末に來ます、恐れ入りますが早く出して下さい（岐阜縣谷城郡上寶村横尾內本松子）

▽こんど早く出すように致しました考へ物は後れてもよこして下さい、（係り）

▽青葉若葉の新緑日に鮮やかになりました。記者樣はじめ誌友の御姉樣御變りはありませんか、私は先頃から愛讀者となりました。ほんとうに理想の雑誌でございます。（福島縣相馬郡福浦村阿部みどり子）

▽私は會津の片田舎に住む乙女でございますが、本年の二月より本誌の愛讀者となりました、そして會訓の強く優しくまじめに働けと忠實に守てゐます（福島縣大沼郡川路村山下キヤノ子）

▽召集令を早送御送り下さつてありがとうございます。貴會が私共に同情の深き事今更ながら敬服の外ありません、私ゞ家業のひま／＼には處女の友を愛讀しないことはありませんどうぞ將來よろしく（福井縣大飯郡和田村吹田鋤子）

▽只今は處女の友を御送り下されありがたう存じます。本年は私は一人淋しく日を過ごしてゐましたが、友より處女の友を見せていたゞき早速お送りを願ひまして實に／＼樂しくなります。（福島縣郡山町岩城製糸場保木きよ子）

▽記者樣發行日の早くなつたこと何よりうれしうございます。當地に一度御出て被下るをお待ち致して居ります（猪苗代町土沼たまよ子）

▽降りつづきたる雨も名殘なく晴れて此の深い山里にも初夏は訪れてまゐりました。諸先生始め皆樣御變りはありませんか、當地は只今早い處か御蠶をはきたてた位です。赤いたすきに姉さんかぶりの白い手拭がよく似合ひます。思ひきり大きな聲で、歌を歌ひながら桑摘みなさる皆樣を眺めては羨ましく存じてゐます。どうぞ／＼お閑の時は御たより下さいませ。同縣の松本君子樣御なつしく存じます。どうぞ今後よろしく（群馬

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

縣近藤みよし子）

▽私は四月より御誌の愛讀者となりました、ほんとうに和歌山縣の石井さんの仰せの通り、私共田舍者にはこの上もないよい雜誌でございます御誌のつきました時には、飛立つばかりうれしうございます。北海道中川郡上若局區白人内海千代子）

▽春の花が散つて青葉の時節となりました。誌友の皆樣にはお變りはございませんか、私は美しい平和な自然の景色の中に働いて居ります（信州の里より山百合）

▽あゝ記者樣私は幼き時より本が好きで婦女界や婦人世界を澤山よみましたが處女の友ほど深く感じたものはありません。此の後も一生懸命勉强致し、大に國の爲、君の爲に盡す考へであります、あゝ業務がいやだと思ふ時は、すぐ處女の友をよみ、思ひ返してゐます（愛知縣一宮片倉製糸會社遠藤なみ子）

▽私は片田舍に住む一處女で本誌を無二の友としてゐる者でございます私はおぼろ月夜の一夜「あたゝかき手にて我が髮なづること、おぼろいかすむ春の夜の月」と歌ひました。（無名子より）

▽惡筆にてごめん下さい、私はある人より處女の友といふ美本の御發行されることを聞きまして、是非拜見致したいと思ひました所、すぐ御送り下されありがたうございます。今までは、くらやみの世を夢に夢みる心地で一人さびしくあゆみましたが今日は處女の友といふ一人の親友をもつて明るい世の中につれ出されたような氣が致します、どうぞこの後も明るい世の中へ御導き下さいまし（いながの者の千代子より）

▽記者樣よまあお聞き下さい私は福島縣の片田舍の處女です、本年の三月より處女の友を愛讀致すやうになりました記者先生どうかよろしく私は御指導を願ひます。私は御誌を無二の友として樂しく月日を送つて居ります誌友の皆樣今後御交際をお願ひ致します（福島縣安達郡針道村遠藤きみ子）

▽私は石見國の片山里の處女會の一員であります。廣島縣より流れてゐる山陰第一の江川の最下流で朝な夕なに、たゆまず流るゝ川瀨の音と共に、專念に働いてゐます。今日都の友から處女の友を送つていたゞきまして玆に眞友を求め得たる嬉しさ、大に心强く思つてゐます。是から私も本誌愛讀者の一員に加へていたゞきます、誌友の皆樣、夏になりました一働きして見たい樣な氣がします御たがひに勉めませう。（島根縣那賀郡坂根タメノ子）

▽記者樣始め誌友の諸姉さまお變りは御座いませんか、日々發展しつゝある御誌を無二の友として愛讀致して居ります、宮城縣石越村の二階堂樣牟岐あい子樣お障りは御座いませんかおやさしいお便誌上でお聞かせ下さいませ。（香川縣三豐郡大野原村高木ひさ子）

▽私は猪苗代に住んでゐる田舍娘でございます、私は元處女の友の目的がわかりました、强く優しくまじめに働く處女會訓をお守り致します熊本のしの子さんおたより下さいね、（福島縣猪苗代町鈴木禮子）

▽花の盛りには雨風が多いと天野先生が仰つしやつた通り、田舍もやう／＼初夏となりました、記者樣私の町から大勢投書遊はします私は肩身ひろいやうに思ひます、皆樣よろしく（福島猪苗代町琉川春子）

▽大正六年から村に處女會から來て居ります、本年は四年になります、一年に四回開會、作り方や餘興展覽會などを致して居ります、私はタゲをすませて處女の友をみるのが一番たのしくじざいます（滋賀縣蒲生郡老蘇村横川まつ子）

▽都の隅にも樂しき春は訪れて花咲き鳥は歌ふ季節となりました、誌友の皆樣に交際を（東京府下吾嬬町請地二〇田村百合子）

▽處女の友、何んといふ美しい名の雜誌でせう、そして此の美しい名に背かぬ内容の記事は實に私共農村婦人の讀物に何よりもよいと思ひました、今年の四月號の記事か大へん私に感動を與へました、永く愛讀致しませう（北海道石狩同雨龍村雨龍尋常小學校内太刀川タツ子）

▽一月からの愛讀者でございます、嗚呼よめはよむ程都にあこがれてのお房さんがほんとうに可愛さうであります。私はお房さんに同情致しますなつかしい皆樣に御身大切にお働き下さい（福島縣猪苗代町九軒町瀧田艶子）

▽私は滿足を知らない女でございました。小さい時から祖父母父母の愛を一身に集めて氣隨氣儘に何不足なく暮らして居りながら尙まだ不滿を感じ心から樂しく日を送つたことはありませんでした。でも記者樣私は五月號の山脇先生の境遇に甘んずる者は幸福といふことを見て、私のまひした神經は一時に目ざめましたほんとうにさうですわ幸福は我が心の中にありまする。記者樣何卒よろしく御導き下さいまし（高知山崎靜子）

〇おたのみ

皆さん一人づゝ誌友をお誘ひ下さいそうして本誌をもつと／＼盛んに致しませう、天野先生は今年の秋から來年にかけて方々へお出でになります。誌友を大ぜいこしらへて下さい。（君子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

編輯だより

□「新茶かな鮎のすしかな螢かな」よい時候となりました。皆さん御きげんやう。本誌は記者一同無事でございますから御安心下さい。

□本誌はますく誌友も殖えますが、尚一層皆さんの御勧誘で誌友を大勢に致たうございます。どうぞ御さそひ下さい。

□吉岡理事の經營せられる女子醫學專門學校は、今回皇后陛下から名譽の御沙汰を拜しました。まことにお目出度いことで、本會も鼻が高うございます。

□代理部が出來ましたことは、前號にも申しましたが、どうか皆さん何でも御申込下さい。親切に取扱ひ致します。

□處女會訓の申込みも大分ございますが、順々に御希望を叶へませう。強く優しくまじあに働けはもう日本全國に知れ渡りました。是からはその實行でございます。

□處女會の歌も大分盛んに流行いたしました。どうぞ盛んに歌つて下さい。子守にも誰にでも歌へて下さい。會の前には歌つて下さい。

□「誌友くらぶ」は大評判で、澤山參ります、あまり永いのはいけません。大勢して短い面白いお話をして下さい。寫眞もお送り下さい。

□處女會や婦人會の總會や運動會の記事は、知らせて被下い。面白くわかり易く書て下さつたのを誌上にのせます。前號の小西しげ子さんの樣なのは本當によく出來てゐます。

□雜誌についての手紙は、本郷元町二の六六發行所へ送つて被下い。天野理事への手紙はこれから神田表猿樂町一〇國民禁酒同盟會本部内として送つで下さい。御手紙が時々紛れ込みますから。

□岐阜の坂の東處女會報はほんとうによく出來てゐます。全國のお手本です處女會婦人會の寫眞が澤山たまつてゐますゆつくりと待つてゐて下さい。

□七日は七夕、十三日がお盆田園の趣味はまた格別盆踊りをする地方は盆踊歌や踊りの樣子をしらせて下さい。

□猪苗代處女會は非常に發展して、本誌の誌友だけでも七十名近くあります。一村が七十名ほんとうにうれしくなります。(君子)

社告

誌友名簿は一回休載致します

處女の友改正定價表

每月一回一日發行

定價	定價	郵税	合計
一部	拾八錢	五厘	拾八錢五厘
半年分	壹圓八錢	不要	壹圓八錢
一年分	貳圓	不要	貳圓

廣告料	特別面	普通面
一頁	貳拾五圓	拾五圓
半頁	/	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵券代用は一割増のこと◎外國行は郵税實費を申受く

大正九年六月二十八日印刷納本
大正九年七月一日發行

東京市本郷區元町二ノ六六
發行兼印刷人 田所楠猪

東京市麹町區紀尾井町三番地
編輯人 天野藤男

處女會中央部

東京市京橋區弓町十二、三番地
印刷所 千代田印刷株式會社

東京市本郷區元町二ノ六六
處女の友發行所
電話小石川四三八四番
振替東京六一一九〇番

大賣捌 東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

内容見本無代進呈

小野鵞堂習字雜誌

書道研究

本月號出來

文部大臣許可社團法人 斯華會 東京神田猿樂町三

内務省囑託 天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢 送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む

東京市本郷元町 丙辰出版社 振替東京三三六〇〇番

代理部取扱品

德用洗濯石鹼

定價（大）金四十錢（小）金參十錢 送料拾二錢

◎此の德用石鹼はこれまでの洗濯用石鹼の樣な黃色や褐色でなく純白であります又今迄の洗濯石鹼の樣に耶脂又は魚油などを原料として造つたものと違ひまして高等の香料が調合してありますから洗濯の後で惡い香は全く殘りませんで誠によい香ひがいたします又泡立ちのよい事洗濯して美麗に汚れがおちる事は不思議な位であります

實用化粧石鹼

定價 金貳拾五錢也 送料 八錢也

◎此の實用化粧石鹼は名稱の如く不經濟な包紙などの飾りは除いてありますから至つて安價に全く實用經濟向に出來て居ますそして品質は市場に出て居ますものよりも優等の原料を以て製してありまして不純物が少しもなく然かも衛生的に皮膚を美しくし泡立ちの宜いのと減り方の遲いとか本品の特色であります是非一度御試し下さい

東京市麹町區元園町一の四七 處女會中央部東京代理店 振替口座東京五一六〇〇番

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へ乞ふ○

代理部の取扱品

春浪快著集 押川春浪著
洋裝四六判全四册
各册 金貳圓參拾錢 郵稅金十八錢

空中の奇禍 押川春浪著
洋裝四六判全一册
定價 金壹圓 郵稅金十二錢

シベリアの少女 野村壽惠子譯
洋裝四六判全一册
定價 金壹圓 郵稅金十二錢

お伽芝居十八番 巖谷小波著
洋裝四六判全一册
定價 金壹圓八拾錢 郵稅金十二錢

お伽口演集 巖谷小波著
洋裝四六判全一册
定價 金壹圓四拾錢 郵稅金十二錢

お伽花見車 巖谷小波著
洋裝四六判全一册
定價 金壹圓六拾錢 郵稅金十二錢

お伽新日本 巖谷小波著
洋裝四六判全一册
定價 金壹圓參拾錢 郵稅金十二錢

東京市麹町區元園町壹の四七
處女會中央部 東京代理部
振替口座東京一五〇〇六一番

青年圖書

大久保四洲著

青年訓話 軍神乃木

著者の麗筆に依りて將軍の面目書中に躍出す

四六版三五〇頁
定價四拾錢
＝送料四錢＝

青年團員手牒

青年團員必携の信用狀▲總クロース和紙堅牢無比▲青年團中央部編纂
定價拾錢＝送料三部迄貳錢

帝國青年の歌

豪壯の歌勇快の曲＝▲青年團中央部選▲島崎東京音樂學校敎授作曲
定價五錢＝送料九部迄貳錢

青年團體操

器具不用且場所を要せず實行簡易
陸軍戸山學校選青年團中央部編纂
定價五錢＝送料四部迄貳錢

緬羊の飼ひ方

青年團中央部農業主任和田穆浙著
平明懇切雙振假名付袖珍形頗美本
定價六拾五錢＝送料四錢

青年團指導

青年團改善指導の標準書▲青年團中央部編纂▲菊判三百八十有餘頁
定價壹圓參拾錢＝送料拾貳錢

趣味讀本 通俗文學

文部省普通學務局玉井廣平先生著
青年の娛樂用課外讀本として好適
定價七拾五錢＝送料六錢

地方青年の教養

內務省監察官守屋榮夫先生著▲青年團員敎養に關する新研究の發表
定價壹圓參拾錢＝送料拾貳錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶、指導者の研究資料
修養、研究、向上娛樂の資料、各團體の連絡機關
定價一部金十五錢郵稅一錢、半年分前金九十錢一ケ年分前金一圓七十錢

東京市麴町區永田町一丁目
帝國青年發行所
振替口座東京二一一六八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

中央報德會講師
內務省囑託
村田宇一郎先生著

町村自治會の組織及[illegible]

〔最新刊〕 價四拾錢 送料四錢

戰後の對策として急務中の急務たるは、國の單位たる町村を堅實鞏固ならしむるに在り。本書は其方策として町村に自治會を組織し其の活動の方法を詳述して町村民の自奮自覺を促したるものなり。希くば浮華輕佻・迷夢より醒めて此の眞率の言に聞く所あれ。

內容一班 一、緒言。二、自治會の組織。三、自治會役員の立場。四、自治會の活動。五、自治生活の實行。六、經濟生活の實行。七、道德生活の實行。八、二宮報德敎の槪說。九、自治會員の指導方法。一〇、結論。

內務書記官田子一民先生著

米國に於ける禁酒戰

〔再版〕 ◈定價金參拾錢 送料四錢

世界の驚異たる全米國の禁酒法案通過は現代に於ける最も注目すべき社會運動たり。著者曩に歐米を巡遊し、親しく米國に於ける禁酒運動の由來と其沿革を究め、感慨禁ずる能はざるものあり、歸來自ら多年の嗜好たりし飮酒を斷ち敢て此一書を提供して同胞の反省に資せんとす、請ふ一讀あれ。

山崎延吉先生著

靑年の自覺

〔最新刊〕 定價四拾錢 送料四錢

農村の指導啓發、農村靑年の師友を以て平生の志願とせる山崎先生が、農村靑年の爲めに、其の自覺に資せんが爲め著はされたるもの卽ち本書也。平易通俗の語を以て、極めて適切に靑年の自覺を勵めたるもの、眞に靑年の若き血と潑溂たる元氣を有し、將來地方の重鎭たり、國家の重きに任ぜんとする抱負ある眞靑年は、來て本書を一讀あれ。

內容一班 一、自覺の意義。二、境遇の自覺。三、性格の自覺。四、生理的變化の自覺。五、心理的變化の自覺。六、地位の自覺。七、責務の自覺。

愛知縣立農林學校長 山崎延吉先生著

五版

婦人の覺醒

定價二十五錢 送料二錢

本書は婦人の天職を明かにし、其の自覺に資し、其の向上に後援せんが爲め、著者が滿腔の同情を以て著はされたる者なり。

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

中元御贈答品賣出し

三越にはお子供衆から、お年寄方迄の中元御贈答品のお恰好品が澤山に取揃へてありますから、一度三越にさへお出で下さいますれば、中元の御贈答品は即座に埒が明きます、その上三越の品ならば、何處へ行つても、何人にも必ず歡迎されます、御中元の御贈答品は三越の品に限ります。

商品券

三越の本支店を通じ何品にでもお取替が自由ゆへ中元の御贈答品として重寶され何人にも大に歡迎されて居ます

商品券賣場は中央階段下左側

七月の定休日　第一日曜日（四日）　第三日曜日（十八日）

東京　三越呉服店

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九年六月二十八日印刷納本

一部定價　金十八錢

處女會中央部

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所

復刻版 処女の友
全5巻＋別冊1

2014年11月1日発行
揃定価(本体90、000円＋税)

編集・発行者 細田哲史
発行所 不二出版
東京都文京区向丘1-2-12
☎03(3812)4433
印刷所 富士リプロ
製本所 青木製本
乱丁・落丁はお取り替えいたします。

第2巻 ISBN978-4-8350-7661-4
全6冊 分売不可 セットコードISBN978-4-8350-7659-1

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

UNIVERSITY OF
ILLINOIS LIBRARY
AT URBANA-CHAMPAIGN
BOOKSTACKS

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN